

〈特集「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」他〉

サマルカンド・タジク語：

特集補遺データ 「受動表現」 「アスペクト」 「モダリティ」 「ヴォイスとその周辺」 「所有・存在表現」 「他動性」 「連用修飾複文」 「情報構造と名詞述語文」 「情報構造の諸要素」 「否定，形容詞と連体修飾複文」

Samarkand Tajik:

‘Passive expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’, ‘Expressions of possession and existence’, ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’

ファイズエワ ザリナ

Fayzieva Zarina

東京外国語大学大学院総合国際学研究所
Tokyo University of Foreign Studies. Graduate School of Global Studies.

要旨：本稿は特集補遺「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報表示の諸要素」「否定，形容詞と連体修飾複文」(『語学研究所論集』第14-23号, 2009-2018, 東京外国語大学)に寄与するものである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘Passive expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’, ‘Expressions of possession and existence’, ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’ (*Journal of the Institute of Language Research* 14-23, 2009-2018, Tokyo University of Foreign Studies).

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002000381>

キーワード：サマルカンド・タジク語，イラン語派，言語類型論，言語間対照，方言学

Keywords: Samarkand Tajik, Iranian languages, linguistic typology, contrastive linguistics, dialectology

1. はじめに

サマルカンド・タジク語は，ウズベキスタン共和国サマルカンド市で話されるタジク語（印欧語族インド・イラン語派）の変種である。タジキスタン共和国の国家語である標準タジク語と比べると，音声的縮約や接辞化によって統合的な構造が発達している点，ウズベク語（チュルク諸語南東語群）の強い影響により統語構造がチュルク諸語により類似している点が大きな特徴である。語彙の面ではウズベク語に加えてロシア語からの影響も見られる。音素は次の通りである。母音音素：/i, e, a, o [ɔ], ū [ø], u/, 子音音素：/p, b, t, d, č [tʃ], j [dʒ], k, g, q, f, v, s, z, š [ʃ], x [χ], ğ [ɣ], h, m, n, l, r, y [j]/

サマルカンド・タジク語例文は母語話者である筆者（1997年，サマルカンド生まれ，女性）が作成し，形態素分析を行った。調査例文の意図に基づいた各例文の解説と日本語直訳に関しては，菱山湧人氏の協力をいただいた。元の構造を分かりやすくするため，日本語直訳は不自然なものもある。



本稿の著作権は著者が保持し，クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed/ja>

2. 受動表現

明示された動作主が人間である [1-4, 7, 10-12] のような表現はふつう能動文で表される。

[1] (1) 私の息子が先生に叩かれた。

man-a pisar-am-a malim zad
 1SG-ACC/GEN son-1SG.POSS-ACC/GEN teacher hit(PST).3SG
 「私の息子を先生が叩いた」

[2] (2) 私は知らない人に足を踏まれた。

nošinos odam man-a počem-a zer kad
 strange person 1SG-ACC/GEN foot.1SG.POSS-ACC/GEN step do(PST).3SG
 「知らない男性が私の足を踏んだ」

kimki man-a počem-a zer kad
 someone 1SG-ACC/GEN foot-ACC/GEN step do(PST).3SG
 「誰かが私の足を踏んだ」

持ち主の受け身（持ち物）は二つ目の例のように動詞の使役形を用いて表されることもある。

[3] (3) ファルホドはシリンに財布を盗まれた。

Širin Farhod-a kašelyok-aš-a duzid
 PN PN-ACC/GEN wallet-3SG.POSS-ACC/GEN steal(PST).3SG
 「シリンはファルホドの財布を盗んだ」

Farhod kašelyok-aš-a duzond-a mond
 PN wallet-3SG.POSS-ACC/GEN steal.CAUS(PST)-PTCP.PSTI put(PST).3SG
 「ファルホドは財布を盗ませてしまった。」

[4] (4) きのうの夜、私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。

šab šabaki a čaqaloq-a mül gira kad-ageš-a
 yesterday night from baby-ACC/GEN many cry do(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN
man xoraft-a na-tonist-am
 1SG sleep(PST)-PTCP.PSTI NEG-can(PST)-1SG
 「昨日の夜、赤ん坊がよく泣いたことから、私は眠ることができなかった」

動作主が明示されず、被動作主が人間でない [5] のような表現は、過去分詞 1 と *šudan* 「なる」による受動構文で表される。

[5] (5) 新しいビルが建てられた。

nav bino soxt-a šud
 new building make(PST)-PTCP.PSTI become(PST).3SG
 「新しいビルが建てられた (lit. 建てて、なった)」

動作主が問題にならない場合は、動詞が 3 人称複数形の能動文で表される。なお、*fransuskiy* は名詞ではなく副詞「フランス語で」である。

[6] (6) カナダではフランス語が話されている。

Kanada-ba fransuskiy gap me-zan-an
PN-DAT/LOC in.French word IMPF-hit(PRS)-3PL
「カナダで（彼/彼女ら）はフランス語で話す」

[7] (7) 財布が（子供に）盗まれた。

kašelyok-am-a bača duzid
wallet-1SG.POSS-ACC/GEN child steal(PST).3SG
「私の財布を子供が盗んだ」

[8] のような結果状態は、過去分詞 2 の述語用法で表される。

[8] (8) 壁に絵が掛けられている。

devol-ba rasm avext-agi
wall-DAT/LOC picture hang(PST)-PTCP.PSTII
「壁に絵が掛かっている」

[10] (10) ファルホドはシリんに「こっち来い」と言われた。

Širin Farhod-ba “inja biyo!” guft
PN PN-DAT/LOC here come(PRS).2SG say(PST).3SG
「シリンはファルホドに『こっち来い』と言った」

[11] (11) ファルホドはシリんに呼ばれて、今シリンのところに行っています。

Širin Farhod-a jeğ zad
PN PN-ACC/GEN call hit(PST).3SG
hozir Farhod peš-i Širin-ba rafsa-s
now PN front-IZ PN-DAT/LOC go(PST).PROG-3SG
「シリンはファルホドを呼んだ。今ファルホドはシリンのところに行っている」

[12] (12) シリンがファルホドを呼んで、ファルホドは今シリンの部屋に行っています。

Širin Farhod-a jeğ zad
PN PN-ACC/GEN call hit(PST).3SG
hozir Farhod xoni Širin-ba rafsa-s
now PN house.IZ PN-DAT/LOC go(PST).PROG-3SG
「シリンはファルホドを呼んだ。今ファルホドはシリンの部屋に行っている」

3. アスペクト

動作が完了したことに注目した (1) のような表現では、動詞が直説法過去形となる。結果状態を強く

意識した (2) のような表現では、動詞が過去分詞 2 *-agi* (述語用法) となる。

[13] (1) あの人はもう来た。

vay odam uje omad
that person already come(PST).3SG
「あの人はもう来た」

[14] (2) あの人はもう来ている。

vay odam uje omad-agi
that person already come(PST)-PTCP.PSTII
「あの人はもう来ている」

完結相の否定 (3) は動詞が推測法過去形 (過去分詞 1 + コピュラ由来の人称標識) であるが、推測の意味はなく、単に完了を表わす。現在の否定 (4) の場合は直説法現在形となる。

[15] (3) あの人はまだ来ていない。

vay odam holi na-omad-a-s
that person yet NEG-come(PST)-PTCP.PSTI-3SG
「あの人はまだ来ていない」

[16] (4) あの人はまだ来ない。

vay odam holi na-mi-biyo-d
that person yet NEG-IMPF-come(PRS)-3SG
「あの人はまだ来ない」

(5) で近未来の意味は副詞 *qarib* 「ほとんど」と動詞の直説法過去形によって表されている。

[17] (5) あの人はもうすぐ来る。

vay odam qarib omad
that person almost come(PST).3SG
「あの人はもうすぐ来る (lit. ほとんど来た)」

発見は一つ目の例では動詞の直説法過去形で、二つ目の例では動詞の直説法現在進行形で、三つ目の例では動詞の推測法過去形で表されている。

[18] (6) (あつ,) ノディルが来た。

Nodir omad
PN come(PST).3SG
「ノディルが来た」

Nodir omaysa-s
PN come(PST).PROG-3SG

「ノディルが向かっている」

Nodir omad-a-s

PN come(PST)-PTCP.PSTI-3SG

「ノディルが来たみたいだ」

現在と切り離された過去を表わす以下の (7, 8) で，動詞は直説法過去形となっている。

[19] (7) おととい，あの人が来たよ。

šabeš vay odam omad

the.day.before.yest. that person come(PST).3SG

「おとといあの人が来た」

[20] (8) おととい，彼は来なかったよ。

šabeš vay odam na-omad

the.day.before.yest. that person NEG-come(PST).3SG

「おとといあの人は来なかった」

他動詞のパーフェクトは一つ目の例のように直説法過去形で表されるが，二つ目の例のように，過去分詞 1+完了を表わす補助動詞によっても表されうる。

[21] (9) 私はこのリンゴをもう食べた。

man uje in seb-a xūrd-am

1SG already this apple-ACC/GEN eat(PST)-1SG

「私はもうこのリンゴを食べた」

man uje in seb-a xūrd-a šud-am

1SG alreadythis apple-ACC/GEN eat(PST)-PTCP.PSTI become(PST)-1SG

「私はもうこのリンゴを食べ終えた」

他動詞のパーフェクトの否定の場合，動詞が推測法過去形となっている。これは自動詞の場合 (3) と同様である。

[22] (10) 私はこのリンゴをまだ食べていない。

man holi in seb-a na-xūrd-em

1SG yet this apple-ACC/GEN NEG-eat(PST)-PTCP.PSTI.1SG

「私はこのリンゴをまだ食べていない」

現在進行は，直説法現在進行形で表される。

[23] (11) あの人は今ちょうどこのリンゴを食べています.

vay odam hamin seb-a xūrsa-s
 that person this.very apple-ACC/GEN eat(PST).PROG-3SG
 「あの人は今（まさに）このリンゴを食べている」

結果状態は (2) と同様に過去分詞 2 *-agi* (述語用法) で表される.

[24] (12) 窓が開いている.

tireza kišod-agi
 window open(PST)-PTCP.PSTII
 「窓が開いている」

習慣 (13) は直説法現在形で表される. 開始時点の不明瞭な状態 (14) も同様である.

[25] (13) 私は毎朝新聞を読む／読んでいます.

man har pagoyi gazeta me-xon-am
 1SG every morning newspaper IMPF-read(PRS)-1SG
 「私は毎朝新聞を読む」

[26] (14) あなたは（あなたの）お母さんに似ている.

šumo biyeton-ba ūxša mu-kun-ed
 2SG.HON mother.2PL.POSS-DAT/LOC resemble IMPF-do(PRS)-2SG.HON
 「あなたはあなたの母親に似ている」

tu biyet-ba ūxša mu-kun-i
 2SG mother.2SG.POSS-DAT/LOC resemble IMPF-do(PRS)-2SG
 「君は君の母親に似ている」

過去の習慣は直説法過去未完結形で表される.

[27] (15) 私はその頃毎日学校へ通っていた.

man vay vaxt-o har rūz maktab-ba me-raft-am
 1SG that time-PL every day school-DAT/LOC IMPF-go(PST)-1SG
 「私はその頃毎日学校に行っていた」

経験 (16) は結果状態と同様に過去分詞 2 *-agi* (述語用法) で表される.

[28] (16) 私はモスクワに行ったことがある.

man Maskva-ba raft-agi
 1SG Moscow-DAT/LOC go(PST)-PTCP.PSTII
 「私はモスクワに行ったことがある」

man Maskva-ba raft-a omad-agi
 1SG Moscow-DAT go(PST)-PTCP.PSTI come(PST)-PTCP.PSTII
 「私はモスクワに行ってきたことがある」

起動相は一つ目の例のように直説法過去形の動詞一つのみでも表されうるが，二つ目の例のように，過去分詞1+直説法過去形の補助動詞によっても表されうる。

[29] (17) やっとバスは走り出した／走り始めた。

aftobus nakanesta jummid
 bus finally move(PST).3SG
 「バスはやっと動いた」

aftobus nakanesta jummid-a raft
 bus finally move(PST)-PTCP.PSTI go(PST).3SG
 「バスはやっと動き出した」

長時間継続したがすでに完結している動作を表わす場合，動詞は直説法過去形または直説法過去完了形となる。

[30] (18) きのう彼女はずっと寝ていた。

šab vay rūz-aš kati xoraft
 yesterday that day-3SG.POSS with sleep(PST).3SG
 「昨日彼(女)は一日中眠った」

šab vay rūz-aš kati xoraft-ud
 yesterday that day-3SG.POSS with sleep(PST)-PST.3SG
 「昨日彼(女)は一日中眠っていた」

試行は過去分詞1+補助動詞 *didan* 「見る」によって表される。

[31] (19) 私はそれをちょっと食べてみた。

man vay-a yaxpiči xūrd-a did-am
 1SG that-ACC/GEN little eat(PST)-PTCP.PSTI see(PST)-1SG
 「私はそれを少し食べてみた」

多方向への客体的分配は，一つ目の例では「分ける」+「与える」のような構成の表現になっている。二つ目の例では「与える」+完了を表わす補助動詞によって表されている。

[32] (20) あの人はそれらをみんなに分け与えた。

vay odam vay čiz-o-ya hamma-ba būllak kad-a dod
 that person that thing-PL-ACC/GEN every-DAT/LOC divide do(PST)-PTCP.PSTI give(PST).3SG
 「あの人はそれらを彼(女)らみんなに分け与えた」

vay odam vay čiz-o-ya hamma-ba dod-a buromad
 that person that thing-PL-ACC/GEN every-DAT/LOC give(PST)-PTCP.PSTI go.out(PST).3SG
 「あの人はそれを彼(女)らみんなに与えきった」

近未来の勧誘を表わす以下の表現で、動詞は直説法過去形となっている。

[33] (21) さあ、私たちは行くよ！

mohon raft-em
 1PL go(PST)-1PL
 「私たちは行った」

恒常的真理を表わす場合、動詞は直説法現在形となる。

[34] (22) 地球は太陽の周りを回っている。

zamin a gird-i oftob mu-jumm-ad
 earth from around-IZ sun IMPF-move(PRS)-3SG
 「地球は太陽の周りから動く」

将然相は、過去分詞 2+後置詞 *barin* の組み合わせ、または直説法現在進行形によって表される。

[35] (23) あの木は今にも倒れそうだ。

vay daraxt me-aftid-agi barin
 that tree IMPF-fall(PST)-PTCP.PSTII like
 「あの木は倒れそうだ」

vay daraxt aftisa-s
 that tree fall(PST).PROG-3SG
 「あの木は落ちつつある」

未遂 (24) と準備 (25) は過去分詞 I+補助動詞 *mondan* 「残る、置く」で表される。

[35] (24) 私はあやうく転ぶところだった。

qarib aftid-a mond-am
 almost fall(PST)-PTCP.PSTI remain(PST)-1SG
 「私は転びかけた」

[36] (25) 明日お客が来るので、パンを買っておく。

paga mehmon mi-biyo-d, hamun-ba non xard-a me-mon-am
 tomorrowguest IMPF-come(PRS)-3SG that-DAT/LOC bread buy(PST)-PTCP.PSTI IMPF-put(PRS)-1SG
 「明日お客さんたちが来る。そのためパンを買っておく」

以下の (26, 27) における従属節の動詞形式の違いに着目すると、いずれも過去分詞 2 であるが、(27) のひとつ目の例のように「～しているときに」では進行相の標識が現れる。(27) の二つ目の例のように「～する前に」では動詞が不定形となる。

なお、(26) や (27) のひとつ目の例のように、所有接辞の付いた分詞と場所格によって時間を表わすのは、ウズベク語と同様である(ウズベク語: *bor-gan-im-da* [go-PTCP.PST-1SG.POSS-LOC]「私が行ったとき」)。

[37] (26) 私はモスクワに行った時、この袋を買った。

man Maskva-ba raft-agem-ba in paket-a xard-am
 1SG Moscow-DAT/LOC go(PST)-PTCP.PSTII.1SG.POSS-DAT/LOC this packet-ACC/GEN buy(PST)-1SG
 「私はモスクワに行った時この袋を買った」

[38] (27) 私はモスクワに行く時／行く前に、この袋を買った。

man Maskva-ba rafs-agem-ba in paket-a xard-am
 1SG Moscow-DAT/LOC go(PST).PROG-PTCP.PSTII.1SG.POSS-DAT/LOC this packet-ACC/GEN buy(PST)-1SG
 「私はモスクワに行っている時にこの袋を買った」

man pešaz Maskva-ba raft-an in paket-a xard-am
 1SG before Moscow-DAT/LOC go(PST)-INF this packet-ACC/GEN buy(PST)-1SG
 「私はモスクワに行く前にこの袋を買った」

以下の例でも従属節の動詞は過去分詞 2 である。

[39] (28) 私は彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。

man vay-a in paket-a a bozor xard-ageš-a
 1SG that-ACC/GEN this packet-ACC/GEN from bazar buy(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN
me-donist-am
 IMPF-know(PST)-1SG
 「私は彼(女)がこの袋を市場から買ったことを知っていた」

4. モダリティ

許可は動詞の不定形+*giftan*「取る」、または過去分詞 2+*mumkin*「可能だ」によって表される。後者の方がやや硬い表現である。

[40] (1) (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ。

kor-aton tamom šav-ad raft-an gir-et
 work-2PL.POSS end become(PRS)-3SG go(PST)-INF take(PRS)-2SG.HON
 「あなたの仕事が終わったら、あなたは帰ってよい」

kor-aton tamom šav-ad raft-ageton mumkin
 work-2PL.POSS end become(PRS)-3SG go(PST)-PTCP.PSTII.2PL.POSS possible
 「あなたの仕事が終わったら、あなたの帰ることが可能だ」

禁止を表わす特別な形式はなく、命令法の否定形式（否定 *na*+現在語幹）で表される。

- [42] (2) (腐っているから) それを食べるな.

vay-a na-xūr
that-ACC/GEN NEG-eat(PRS).2SG
「それを食べるな」

義務 (3, 5) は過去分詞 2+*darkor* 「必要だ」によって表される。

- [43] (3) (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない.

(uje bevaxt šud) mohon raft-agemo darkor
already late become(PST) 1PL go(PST)-PTCP.PSTII.1PL.POSS necessary
「(もう遅くなった) 私たちは私たちの行くことが必要だ」

推奨「～したほうがいい」は以下では命令文で表されている。

- [44] (4) (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ.

(boron borisa-s) zontik-at-a bar
rain rain(PST).PROG-3SG umbrella-2SG.POSS-ACC/GEN take(PRS).2SG
「(雨が降っている) 君は君の傘を持っていけ」

- [45] (5) 歳を取ったら, 子供の言うことを聞くべきだ/ものだ.

odam pir šav-ad bačeš-a guft-ageš-a gūš
person old become(PRS)-3SG child.3SG.POSS-ACC/GEN say(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN ear
kad-ageš darkor
do(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS necessary
「人は、歳を取ったら、自分の子供の言ったことを聞くことが必要だ」

自然発生的な願望は、過去分詞 2+*omadan* 「来る」によって表される。

- [46] (6) (お腹がすいたので) 私は何か食べたい.

(dil-am gušna mond) yagon čiz xūrd-agem omaysa-s
heart-1SG.POSS hunger remain(PST) some thing eat(PST)-PTCP.PSTII.1SG.POSS come(PST).PROG-3SG
「(私のお腹がすいた) 私の何かを食べる気持ちが来ている」

意志 (7), 勧誘 (8, 9) は 1 人称の直説法現在形で表される。勧誘 (8) の場合は、二つ目の例のように 1 人称の接続法形式でも表されうる。

- [47] (7) 私が持ちましょう.

man me-bardor-am
1SG IMPF-lift(PRS)-1SG
「私が持ちます」

[48] (8) じゃあ，一緒に昼ご飯を食べましょう。

beton, qati avqot mū-xūr-em
 come(PRS).2PL together meal IMPF-eat(PRS)-1PL
 「来てください，私たちは一緒にご飯を食べます」

hamma qati avqot xūr-em
 every together meal eat(PRS)-1PL
 「みんな一緒にご飯を食べましょう」

[49] (9) 一緒に昼ごはんを食べませんか？

qati avqot mū-xūr-ed mi?
 together meal IMPF-eat(PRS)-2SG.HON Q
 「あなたは一緒にご飯を食べますか？」

qati avqot na-mū-xūr-em mi?
 together meal NEG-IMPF-eat(PRS)-1PL Q
 「私たちは一緒にご飯を食べませんか？」

3人称に対する1人称の希望「～といいなあ／～してほしいなあ」は，接続法の3人称形式＋コピー動詞 *budan* の直説法過去形で表される。

[50] (10) 明日，良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。

paga havo nağz šav-ad bud
 tomorrow weather good become(PRS)-3SG be(PST).3SG
 「明日天気が良くなるならなあ」

命令は接続法の2人称形式によって表される。ただし，2人称単数に対する命令では人称標識が現れず，現在語幹のみとなる。

[51] (11) (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。

vay-a tez gift-a biyo
 that-ACC/GEN fast take(PST)-PTCP.PSTI come(PRS).2SG
 「あれをはやく持ってこい」

懇願は一つ目の例のように接続法の2人称形式の肯定文で，もしくは直説法現在形の疑問文で表される。

[52] (12) そのペンをちょっと貸していただけませんか？

yak-ta vay ručka-ya dod-a ist-ed
 one-CLF that pen-ACC/GEN give(PST)-PTCP.PSTI stand(PRS)-2PL
 「一つそのペンを与えていてください」

yak-ta vay ručka-ya mi-ted mi?
 one-CLF that pen-ACC/GEN IMPF-give(PRS).2SG.HON Q
 「ひとつそのペンを与えますか？」

能力可能は、過去分詞 1+*tonistan* 「できる」によって表される。

[53] (13) あの人は中国語が読めます。／あの人は中国語を読むことができます。

vay kitayski-ya xond-a me-ton-ad
 that Chinese-ACC/GEN read(PRS)-PTCP.PSTI IMPF-can(PRS)-3SG
 「あの人は中国語を読むことができます」

状況可能は過去分詞 1+*šudan* 「なる」の 3 人称形（非人称文）によって表される。

[54] (14) 明りが暗くて、ここに何て書いてあるのか、読めない。

inja torik bud-ageš-ba či navest-agi
 here dark be(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-DAT/LOC what write(PST)-PTCP.PSTII
bud-ageš-a xond-a na-mu-šud
 be(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN read(PST)-PTCP.PSTI NEG-IMPF-become(PRS).3SG
 「ここは暗いので、何が書いてあるのかを読むことがなりません」

確信(15), 疑念 (17) を意味する動詞の形式はない。根拠となるものがない憶測 (16, 18) は、憶測法の形式（過去分詞 2+コピュラ由来の人称標識）によって表される。

[55] (15) (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ。／もう着いたに違いない。

vay-o uje omad-agi
 that-PL already come(PST)-PTCP.PSTII
 「彼らはもう着いている」

[56] (16) (あの人は) 今日はたぶん来ないだろう。

vay odam imrūz na-me-omad-agi-s
 that person today NEG-IMPF-come(PST)-PTCP.PSTII-3SG
 「あの人は今日来ないだろう」

[57] (17) 彼らがまだ来ないなんて、きっと途中で車が壊れたんじゃないか。

vay-o holi=yam na-omad-a-s azaft mošin-aš miyoni rah-ba vayron
 that-PL still=too NEG-come(PST)-PTCP.PSTI-3SG looks.like car-3SG.POSS middle.IZ way-DAT/LOC break
šud-agi
 become(PST)-PTCP.PSTII
 「彼らはまだ来ていない。きっと車が道中で壊れている」

[58] (18) (昼間だからあの人は家に) いるかもしれないし、いないかもしれない。

(vay odam xoneš-ba) bud-agi-s yo ne
 that person house.2SG.POSS-DAT/LOC be(PST)-PTCP.PSTII-3SG or no
 「(あの人は自分の家に) いるかもしれない，または違う」

触覚による判断 (19) は過去分詞 2+後置詞 *barin* 「ようだ」によって，伝聞 (20) は推測法の形式 (過去分詞 1+コピュラ由来の人称標識) によって表される。

[59] (19) (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ。

temperaturet bud-agi barin
 fever.2SG.POSS be(PST)-PTCP.PSTII like
 「あなたの熱があるようだ」

[60] (20) (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。

paga boron me-borid-a-s
 tomorrow rain IMPF-rain(PST)-PTCP.PSTI-3SG
 「明日は雨が降るそうだ」

反実仮定の表現 (21, 22) では，従属節に接続法の形式が現れ，主節には直說法過去未完結形が現れる。

[61] (21) もしお金があったら，あの車を買うんだけれどなあ。

pul-am boš-ad vay mošin-a me-xarid-am
 money-1SG.POSS be(PRS)-3SGthat car-ACC/GEN IMPF-buy(PST)-1SG
 「私のお金があれば，あの車を私は買っていた」

[62] (22) もしあなたが教えてくれていなかったら，私はそこにたどり着けなかったでしょう。

agar šumo man-ba rah-a nišon na-tes,
 if 2SG.HON 1SG-DAT/LOC way-ACC/GEN show NEG-give(PRS).2SG.HON
man inja-ba na-me-omad-am.
 1SG here-DAT/LOC NEG-IMPF-come(PST)-1SG
 「もしあなたが私に道を示さなければ，私はここに来ていなかった」

3人称の主体による願望も，1人称による願望と同じ形を取る。

[63] (23) あの人は街へ行きたがっている。

vay odam (azaft) šahar-ba raft-ageš omaysa-s
 that person looks.like city-DAT/LOC go(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS come(PST).PROG-3SG
 「その男は (まるで) 街に彼の行く気持ちが来ている」

(24, 25, 26) はいずれも 2 人称に対する命令となっている。

[64] (24) 僕にもそれを少し飲ませろ.

man-ba=yam vay-a yaxpiči te
 1SG-DAT/LOC=too that-ACC/GEN little give(PRS).2SG
 「私にもそれを少しくれ」

[65] (25) これはあの人に持っていかせろ／持っていかせよう.

in-a vay odam-ba te
 this-ACC/GEN that person-DAT/LOC give(PRS).2SG
 「これをあの人に与えろ」

in-a a vay odam dod-a furson
 this-ACC/GEN from that person give(PST)-PTCP.PSTI send(PRS).2SG
 「これをあの人経由で与えて送れ」

[66] (26) そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい.

in ustal-a bolo-š-ba bud-agi širini-ya soni xūr
 this table-ACC/GEN top-3SG.POSS-DAT/LOC be.(PST)-PTCP.PSTII sweet-ACC/GEN after eat(PRS).2SG
 「このテーブルの上にあるお菓子を後で食べろ」

[67] (27) もっと早く来ればよかった.

barvax-tar biyo-m mu-šud-a-s
 early-COMP come(PRS)-1SG IMPF-become(PST)-PTCP.PSTI-3SG
 「私よりもっと早く来たら、なっただろう」

(28) は日本語とは異なり従属節の脱従属化の例ではなく、直説法現在形による疑問文となっている。

[68] (28) あなたも一緒に行ったらどうですか？

šumo=yam qati me-red mi?
 2SG.HON=too together IMPF-go(PRS).2SG.HON Q
 「あなたも一緒に行きますか？」

(29) で日本語の反語は疑問詞を含まないが、サマルカンド・タジク語では疑問詞「どこから、なぜ」が含まれ、述語は接続法の1人称形式となっている。

[69] (29) オレがそんなこと知るか.

man a gijo vay-a don-am
 1SG from where that-ACC/GEN know(PRS)-1SG
 「私がどこからそれを知りましょう？」

付加疑問はデフォルトの疑問標識 *mi* ではなく *a* によって表される.

[70] (30) これを作ったのは，お母さんだよ？ いいえ，私が作ったのよ。

in-a biyet puxt-an a?
 this-ACC/GEN mother.2SG.POSS cook(PST)-3PL MOD

ne, man-a xud-am puxt-am
 no 1SG-ACC/GEN self-1SG.POSS cook(PST)-1SG

「これをあなたのお母さんがおつくりになったんだよ？」

「いいえ，私自身が作った」

5. ヴォイスとその周辺

「開いた」と「開けられた」は同じ構造（過去分詞 1+*šudan*「なる」）で表される。なお，受身文で動作主「誰々によって」は表すことができない（動作主を明示する場合は能動文が用いられる）。

[71] (1a) （風で）ドアが開いた。

dar kišod-a šud
 door open(PST)-PTCP.PSTI become(PST).3SG

「ドアが開けられた」

[71] (1b) 彼がドアを開けた。

vay dar-a kišod
 that door-ACC/GEN open(PST).3SG

「彼がドアを開けた」

[71] (1c) 入口のドアが開けられた。

dar-i daromad kišod-a šud
 door-IZ entry open(PST)-PTCP.PSTI become(PST).3SG

「入り口のドアが開けられた」

使役は使役動詞（現在語幹+使役接辞 *-on(d)*）によって表される。他動詞からの使役表現で，被使役主は与位格 *-ba* によって標示される。

[72] (2) 私は自分の弟を立たせた。

man ukem-a xezond-am
 1SG y.brother.1SG.POSS-ACC/GEN wake.CAUS(PST)-1SG

「私は私の弟を立たせた」

[73] (3) 私は自分の弟に歌を歌わせた。

man ukem-ba ašūla xonond-am
 1SG y.brother.1SG.POSS-DAT/LOC song read.CAUS(PST)-1SG

「私は私の弟に歌を歌わせた」

以下の [74] は使役文ではなく能動文である。

[74] (4a) (遊びたがっている) 子供に母親はパンを買いに行かせた.

(bozi kad-ageš omays-ud-agi bača-ya)
 play do(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS come(PST).PROG-PST-PTCP.PSTII child-ACC/GEN
 biyeš magazin-ba non xard-an-ba fursond
 mother.3SG.POSS store-DAT/LOC bread buy(PST)-INF-DAT/LOC send(PST).3SG
 「(遊びをする気持ちが来ていた子供を) その母親は店にパンを買いに送った」

[74] (4b) (遊びに出たがっている) 子供を母親は遊びに行かせた.

(bozi kad-ageš omays-ud-agi bača-ya)
 play do(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS come(PST).PROG-PST-PTCP.PSTII child-ACC/GEN
 biyeš bozi kad-an-ba mond
 mother.3SG.POSS play do(PST)-INF-DAT/LOC put(PST).3SG
 「遊びをする気持ちが来ていた子供を, その母親は遊びをしに置いた」

(bozi kad-ageš omays-ud-agi bača-ya)
 play do(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS come(PST).PROG-PST-PTCP.PSTII child-ACC/GEN
 biyeš bozi kad-an-ba fursond
 mother.3SG.POSS play do(PST)-INF-DAT/LOC send(PST).3SG
 「(遊びをする気持ちが来ている子供を) その母親は遊びをしに送った」

「着せる」と「着させる」は同形となる。(5a) は能動文で, 誰に着せたかは示されていないが, 文脈上, 弟に着せたという意味になる。(5b) の使役文では, 被使役主の弟が与位格で標示されている。

[75] (5a) 私は弟に服を着せた.

man ukem-a čiz-aš-a pūšond-am
 1SG y.brother-ACC/GEN thing-3SG.POSS-ACC/GEN wear.CAUS(PST)-1SG
 「私は私の弟の服を着せた」

[75] (5b) 私は弟にその服を着させた.

man ukem-ba vay čiz-a pūšond-am
 1SG y.brother-DAT/LOC that thing-ACC/GEN wear.CAUS(PST)-1SG
 「私は私の弟にその服を着させた」

[76] (6) 私は弟にその本をあげた.

man ukem-ba vay kitob-a dod-am
 1SG y.brother-DAT/LOC that book-ACC/GEN give(PST)-1SG
 「私は私の弟にその本をあげた」

動作のやりもらいでは, 「～てあげる」に相当する過去分詞 1+dodan 「与える」が用いられる。ウチ・ソトの関係による表現の違いはない。

[77] (7a) 私は弟に本を読んであげた。

man ukem-ba vay kitob-a xond-a dod-am
 1SG y.brother-DAT/LOC that book-ACC/GEN read(PST)-PTCP.PSTI give(PST)-1SG
 「私は私の弟にその本を読んであげた」

[77] (7b) 兄は私に本を読んでくれた。

man-ba akem kitob xond-a dod
 1SG-DAT/LOC brother.1SG.POSS book read(PST)-PTCP.PSTI give (PST).3SG
 「私に私の兄は本を読んであげた」

[77] (7c) 私は母に髪の毛を切ってもらった。

biyem mūm-a burrid-an
 mother.1SG.POSS hair.1SG.POSS-ACC/GEN cut(PST)-3PL
 「私の母は私の髪をお切りになった」

動作の対象が自身の身体部位である場合は，通常の能動文となる．身体部位を表わす名詞は，所有接辞によって所有者の人称・数が標示される．

[78] (8a) 私は自分の体を洗った。

man badan-am-a šušt-am
 1SG body-1SG.POSS-ACC/GEN wash(PST)-1SG
 「私は私の体を洗った」

[78] (8b) 私は手を洗った。

man dast-am-a šušt-am
 1SG hand-1SG.POSS-ACC/GEN wash(PST)-1SG
 「私は私の手を洗った」

[78] (8c) 彼は手を洗った。

vay dast-aš-a šušt
 that hand-3SG.POSS-ACC/GEN wash(PST).3SG
 「彼は彼の手を洗った」

[79] (9) 私は自分のためにその本を買った。

man xud-am-ba vay kitob-a xarid-am
 1SG self-1SG.POSS-DAT/LOC that book-ACC/GEN buy(PST)-1SG
 「私は私自身にその本を買った」

相互態は代名詞 *yag+digar* 「互い」，共同態は副詞 *qati* 「一緒に」などで表され，動詞の形は変わらない。

[80] (10) 彼らは互いに殴り合った.

vay-o yag+digar-eš-a zad
 that-PL one+other-3SG.POSS-ACC/GEN hit(PST).3SG
 「彼らはお互いを殴った」

[81] (11) その人たちはみな一緒に町へ出発した.

vay odam-o hamma qati šahar-ba raft-an
 that person-PL every together city-DAT/LOC go(PST)-3PL
 「その人たちは皆一緒に街へ行った」

自発を表わす動詞の形式はない.

[82] (12) この映画は泣ける.

in kino-ya did-a gira mu-kun-i
 this movie-ACC/GEN see(PST)-PTCP.PSTI cry IMPF-do(PRS)-2SG
 「この映画を見て君は泣く」

無意志的な動作は、過去分詞 1+補助動詞 *mondan* 「置く、残る」で表される.

[83] (13a) 私は卵を割った.

man tuxum-a šikast-am
 1SG egg-ACC/GEN break(PST)-1SG
 「私は卵を割った」

[83] (13b) (うっかり落として) 私はコップを割った/割ってしまった.

man stakan-a šikast-a mond-am
 1SG glass-ACC/GEN break(PST)-PTCP.PSTI put(PST)-1SG
 「私はコップを割ってしまった」

随意の不可能と不随意の不可能は、いずれも原因を表わす前置詞 *a* 「～から」と、名詞用法の過去分詞 2 を用いた表現で表されうる. 随意の不可能はそれに加えて、継起的な動作を表わす過去分詞 1 によっても表されうる.

[84] (14a) きのう私はコーヒーを飲みすぎて眠れなかった.

šab kofi-ya mūl nūšt-a xorafi-a na-tonist-am
 yesterday coffee-ACC/GEN many drink(PST)-PTCP.PSTI sleep(PST)-PTCP.PSTI NEG-can(PST)-1SG
 「きのうコーヒーをたくさん飲んで、寝ることができなかった」

šab kofi-ya mūl nūšt-a xob-am na-omad
 yesterday coffee-ACC/GEN many drink(PST)-PTCP.PSTI sleep-1SG.POSS NEG-come(PST).3SG
 「きのうコーヒーをたくさん飲んで、私の眠気が来なかった」

šab a kofi-ya mül nūšt-agem-a xorraft-a
 yesterday from coffee-ACC/GEN many drink(PST)-PTCP.PSTII.1SG.POSS-ACC/GEN sleep(PST)-PTCP.PSTI
na-tonist-am
 NEG-can(PST)-1SG
 「きのう私のコーヒーをたくさん飲んだことから，寝ることができなかった」

[84] (14b) きょう私は仕事がたくさんあって眠れなかった。

šab a kor-am mül bud-ageš-a xorraft-a
 yesterday from work-1SG.POSS many be(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN sleep(PST)-PTCP.PSTI
na-tonist-am
 NEG-can(PST)-1SG
 「きのう私の仕事がたくさんあったことから，寝ることができなかった」

(15) は「私の頭」が，(16) は「あの女性の髪」が主語であり，日本語のような二重主語文にはならない。

[85] (15) 私は頭が痛い。

sar-am dar kaysa-s
 head-1SG.POSS hurt do(PST).PROG-3SG
 「私の頭が痛んでいる」

[86] (16) あの女性は髪が長い。

vay duxtar-a mū-š daroz
 that girl-ACC/GEN hair-3SG.POSS long
 「あの娘の髪は長い」

他人の身体部位などに働きかける表現は，日本語のように所有構造の名詞が項として表現される。

[87] (17a) 彼はあの人の肩を叩いた。

vay bača vay odam-a yelkeš-a zad
 that child that person-ACC/GEN shoulder.3SG.POSS-ACC/GEN hit(PST).3SG
 「その子供はあの人の肩を叩いた」

[87] (17b) 彼はあの人の手をつかんだ。

vay bača vay odam-a dast-aš-a došt
 that child that person-ACC/GEN hand-3SG.POSS-ACC/GEN hold(PST).3SG
 「その子供はあの人の手を持った」

知覚構文は複文で表される。埋め込み節の主語は属格で標示され，述語は節の主語の人称・数を表わす所有接尾辞が付加した過去分詞 2 で表される。

[88] (18a) 私は彼がやって来るのを見た。

man vay-a omad-ageš-a did-am
 1SG that-ACC/GEN come(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN see(PST)-1SG
 「私は彼の来たことを見た」

man vay-a omays-ud-ageš-a did-am
 1SG that-ACC/GEN come(PST).PROG-PST-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN see(PST)-1SG
 「私は彼の来ていたことを見た」

[88] (18b) 私は彼が今日来ることを知っている。

man vay-a me-omad-ageš-a me-don-am
 1SG that-ACC/GEN IMPF-come(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN IMPF-know(PRS)-1SG
 「私は彼の来ることを知っている」

引用文中の再帰は、主格形の再帰代名詞によって表される。動詞 *guftan* 「言う」の過去分詞形 *guft-a* 「～と言って」は、しばしば引用標識「～と」として機能する。

[89] (19) 彼は自分のほうが勝つと思った。

vay xud-aš mu-burr-ad guft-a ūyla kad
 that self-3SG.POSS IMPF-cut/win(PST)-3SG say(PST)-PTCP.PSTI think do(PST).3SG
 「彼は彼自身が勝つと考えた」

部分的に及ぶ動作は前置詞 *a* 「～から」を用いて表されうる。(20a) の二つ目の例のように、「少し」のような副詞を用いることでも表されうる。全体に及ぶ動作は *hammeš* 「そのすべて」を用いて表される。

[90] (20a) 私はコップの水の一部を飲んだ。

man a stakan ob nūšt-am
 1SG from glass water drink(PST)-1SG
 「私はコップから水を飲んだ」

man stakan-a ob-aš-a yaxpiči nūšt-am
 1SG glass-ACC/GEN water-3SG.POSS-ACC/GEN little drink(PST)-1SG
 「私はコップの水を少し飲んだ」

[90] (20b) 私はコップの水を全部飲んだ。

man stakan-ba bud-agi ob-a hammeš-a nūšt-am
 1SG glass-DAT/LOC be(PST)-PTCP.PSTII water-ACC/GEN every.3SG.POSS-ACC/GEN drink(PST)-1SG
 「私はコップにある水の全部を飲んだ」

man stakan-a ob-aš-a hammeš-a nūšt-am
 1SG glass-ACC/GEN water-3SG.POSS-ACC/GEN every.3SG.POSS-ACC/GEN drink(PST)-1SG

「私はコップの水の全部を飲んだ」

恒常的な否定文でも，動詞述語文であれば否定は接頭辞 *na-* によって表される．目的語の特別な標示はない．恒常性は現在未完結形によって表される．

[91] (21) あの人は肉を食べない．

vay odam gūšt na-mū-xūr-at
that person meat NEG-IMPF-eat(PRS)-3SG
「あの人は肉を食べない」

(22b) は感覚主体を主語とした動詞述語文となっている．

[92] (22a) 今日は寒い．

imrūz xunuk
today cold
「今日は寒い」

[92] (22b) 私はなんだか寒い．

čota xunuk xūrsem
somewhat cold eat(PST).PROG.1SG
「なんだか私は寒さを食べている」

感情主体が受動的である感情述語の場合，感情主体が主語となり，対象は与位格 *-ba* で標示される．

[93] (23) 私は人がとても多いのに驚いた．

odam sliškom mūl bud-ageš-ba hayron šud-am
person too.much many be(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-DAT/LOC surprise become(PST)-1SG
「人がとても多くいることに私は驚いた」

「雨が降る」という表現は，名詞にも動詞にも「雨」の意があり，両者に派生関係があるタイプに分類される（雨：*boron*，降る：*boridan*）．

[94] (24) 雨が降ってきた．

boron borid
rain rain(PST).3SG
「雨が降った」

boron borisa-s
rain rain(PST).PROG-3SG
「雨が降っている」

以下の中間構文は，過去分詞 1+*šudan* 「なる」による受動構文で表されている．

[95] (25) その本は良く売れる.

vay kitob mül furūxt-a šud
 that book many sell(PST)-PTCP.PSTI become(PST).3SG
 「その本はたくさん売られた」

6. 所有・存在表現

(1, 2) は身体部位名詞を主語とする形容詞述語文で表される。身体部位名詞は属格所有構造「AのB」の主要部(B)であり、所有者の人称・数を表わす所有接辞が付加される。(2)の二つ目の例にあるように、身体部位+形容詞による複合語を述語とする表現も存在する。

[96] (1) あの人は青い目をしている。／青い目の人・目が青い人

vay odam-a čašm-aš kavut
 that person-ACC/GEN eye-3SG.POSS blue
 「あの人の目は青い」

[97] (2) あの女 {は／の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている

vay duxtar-a mū-š daroz
 that girl-ACC/GEN hair-3SG.POSS long
 「あの女の髪は長い」

vay duxtar mū+daroz
 that girl hair+long
 「あの女は髪長だ」

所有文「AはBを持っている」は、「AのBがある」という構造になる。*hast*「ある」は不定形を持たず、現在時制でのみ用いられる特殊な動詞である。

[98] (3) あの人には髭がある。

vay odam-a riš-aš hast
 that person-ACC/GEN moustache-3SG.POSS exist.3SG
 「あの人の髭がある」

[99] (4) あの人には(見る)目がある。

vay odam-a vkus-aš hast
 that person-ACC/GEN taste-3SG.POSS exist.3SG
 「あの人の味がある」

側面語のある表現のうち、年齢(5)は基数詞+与位格が述語の文で表される。その他(6-8)は形容詞文によって表される。

[100] (5) あの人は 22 歳だ.

vay odam bist-i du-ba
that person twenty-and two-DAT/LOC
「あの人は 22 に (いる)」

[101] (6) あの人は優しい性格だ.

vay odam dobriy
that person kind
「あの人は優しい」

vay odam-i nağz
that person-IZ good
「彼は良い人だ」

vay odam-a xarakter-aš nağz
that person-ACC/GEN character-3SG.POSS good
「あの人の性格は良い」

[102] (7) あの人は背が高い. / 背の高い人

vay odam-a qad-aš daroz
that person-ACC/GEN height-3SG.POSS long
「あの人の背は長い」

vay odam qad+daroz
that person height+long
「あの人は背長だ」

[103] (8) あの人は背が 190 センチもある.

vay odam-a qad-aš 190 santimetr
that person-ACC/GEN height-3SG.POSS 190 centimeter
「あの人の背は 190 センチだ」

[104] (9) その石は四角い形をしている. / 四角い (形の) 石

vay sang čorkunjak
that stone square
「その石は四角い」

čorkunjak sang
square stone
「四角い石」

所有表現 (10-22) のうち, 多くは属格所有構造「A の B」を含んだ文で表されうる.

[105] (10) あの人には才能がある。 / 才能のある人

vay odam-a talant-aš hast
 that person-ACC/GEN talant-3SG.POSS exist.3SG
 「あの人の才能がある」

[106] (11a) あの人は病いだ。

vay odam kasal
 that person ill
 「あの人は病いだ」

[106] (11b) あの人は熱がある。

vay temperatura kaysa-s
 that fever do(PST).PROG-3SG
 「彼は熱をしている」

vay-a temperatureš baland
 that-ACC/GEN fever.3SG.POSS high
 「彼の熱は高い」

[106] (11b) 病気の人

kasal odam
 ill person
 「病気の人」

odam-i kasal
 person-IZ ill
 「病気の人」

[107] (12) あの人は青い服を着ている。 / 青い服の男

vay odam kavut čiz pūšt-agi
 that person blue thing wear(PST)-PTCP.PSTII
 「あの人は青い服を着ている」

[108] (13) あの人はメガネをかけている。 / メガネの男

vay odam ački kad-agi
 that person glasses do(PST)-PTCP.PSTII
 「あの人はメガネをしている」

[109] (14) あの人には妻がいる。 / 既婚の人・妻のいる人

vay odam-a zan-aš hast
 that person-ACC/GEN wife-3SG.POSS exist.3SG

「あの人の妻がいる」

vay odam tūy šud-agi
that person wedding become(PST)-PTCP.PSTII
「あの人は結婚式を（すでに）している」

vay odam zan+dor
that person wife+PROP
「あの人は妻持ちだ」

[110] (15) あの人には3人子供がいる。 / 3人の子持ちの人・あの人の3人の子供 / 妊娠している女性

vay-a se-ta bačeš hast
that-ACC/GEN three-CLF child.3SG.POSS exist.3SG
「あの人の3つの子供がいる」

vay se bača+dor
that three child+PROP
「彼は3子ども持ちだ」

vay zanak beremenniy
that woman pregnant
「あの女性は妊娠している」

beremenniy zanak
pregnant woman
「妊娠している女性」

[111] (16) クモには足が8本ある。

tortonak-a haš-ta počes hast
spider-ACC/GEN eight-CLF leg.3SG.POSS exist.3SG
「クモの8つの足がある」

[112] (17) その飲み物にはアルコールが入っている。 / アルコール入りの飲み物

vay napitka-ya alkogol-aš hast
that drink-ACC/GEN alcohol-3SG.POSS exist.3SG
「その飲み物のアルコールがある」

vay alkogolniiy napitka
that alcohol drink
「それはアルコール飲料だ」

[113] (18) あの人はお金を持っている。 / お金持ちの人

vay odam boy

that person rich

「あの人は豊かだ」

vay odam-a pul-aš mül

that person-ACC/GEN money-3SG.POSS many

「あの人のお金が多い」

vay odam pul+dor

that person money+PROP

「あの人は金持ちだ」

[114] (19) おまえのところには犬がいるか? / 犬のいる人

tu-ya kučuk-at hast mi?

2SG-ACC/GEN dog-2SG.POSS exist.3SG Q

「君の犬はあるか?」

kučuk-aš bud-agi odam

dog-3SG.POSS be(PST)-PTCP.PSTII person

「その犬がある人」

[115] (20) おまえは (自分の) ペンを持っているか? / ペンを持っている人

tu-ya ručket hast mi?

2SG-ACC/GEN pen.2SG.POSS exist.3SG Q

「君のペンはあるか?」

ručka+dor odam

pen+PROP person

「ペン持ちの人」

[116] (21) あの人は (誰か別の人の) ペンを持っている。

vay odam kimki-ya ručkeš-a gift-agi

that person someone-ACC/GEN pen.3SG.POSS-ACC/GEN take(PST)-PTCP.PSTII

「あの人は誰かのペンを (すでに) 取っている」

[117] (22) あの人は運がいい。 / 幸運な人

vay odam-a omad-aš hast

that person-ACC/GEN luck-3SG.POSS exist.3SG

「あの人の運がある」

(23-26) の多くは、文頭に与位格で標示された場所名詞が現れ、*hast* 「ある」や形容詞が述語の文で表

されている.

[118] (23) ここは石が多い. /石の多い土地

inja-ba sang mül
 here-DAT/LOC stone many
 「ここには石がたくさんだ」

inja-ba sang pur
 here-DAT/LOC stone full
 「ここには石がいっぱいだ」

[119] (24) その部屋には椅子が3つある/3つ椅子のある部屋

in xona-ba se-ta stul hast
 this house-DAT/LOC three-CLF chair exist.3SG
 「この部屋には3つのいすがある」

[120] (25) テーブルの上にスプーンがある. /スプーンのあるテーブル

boli ustal-ba loška hast
 top.IZ table-DAT/LOC spoon exist.3SG
 「テーブルの上にスプーンがある」

[121] (26) そのスプーンはテーブルの上にある. /テーブルにあるスプーン

in loška boli ustal-ba istod-a-s
 this spoon top.IZ table-DAT/LOC stand(PST)-PTCP.PSTI-3SG
 「このスプーンはテーブルの上に立っている」

「～のもの」は, *ayni* を名詞・代名詞に前置させることで表される. この形式は文語の *az on-i* [from that-IZ] に由来する.

[122] (27) そのペンは私のだ.・そのペンは太郎のだ. /私のペン・太郎のペン

in man-a ručkem
 this 1SG-ACC/GEN pen.1SG.POSS
 「これは私のペンだ」

in ručka ayni man
 this pen belong.to 1SG
 「このペンは私のだ」

in ručka ayni Farhod
 this pen belong.to PN
 「このペンはファルホドのだ」

man-a ručkem
 1SG-ACC/GEN pen.1SG.POSS
 「私のペン」

Farhod-a ručkeš
 PN-ACC/GEN pen.3SG.POSS
 「ファルホドのペン」

できごとの生起を表わす文で、述語は *šudan* 「なる」、*budan, hast* 「ある」が用いられる。

[123] (28) 昨日、学校で火事があった。／私は明日用事があります。

šab maktab-ba pajar šud
 yesterday school-DAT/LOC fire become(PST).3SG
 「昨日学校で火事になった」

man-a paga kor-am hast
 1SG-ACC/GEN tomorrow work-1SG.POSS exist.3SG
 「私の明日仕事がある」

実在文 (29) では述語が *hast* 「ある」または *nest* 「ない」となる。絶対存在文 (30, 31) でも同様である。

[124] (29) (この世には) お化けなんていない。

(in dunyo-ba) rux nest
 this world-DAT/LOC ghost exist.NEG.3SG
 「(この世界に) 幽霊はいない」

[125] (30) (そこには) 英語を話す人もいるが、話さない人もいる。

unja-ba angliski-ya me-donist-ago=yam hast u
 there-DAT/LOC English-ACC/GEN IMPF-know(PST)-PTCP.PSTII.PL=too exist.3SG and
na-me-donist-ago=yam hast
 NEG-IMPF-know(PST)-PTCP.PSTII.PL=too exist.3SG
 「そこには英語を知っている人たちもいる、そして知らない人たちもいる」

[126] (31) 私より英語ができる人は (ほかに／もっと) います。

angliski-ya a man nağz-tar me-donist-ago hast
 English-ACC/GEN from 1SG good-COMP IMPF-know(PST)-PTCP.PSTII.PL exist.3SG
 「英語を私よりもっとよく知っている人たちがいる」

抽象的な所有も所有文によって表現される。

[127] (32) ちょっとあなたにお願いがあります。

yak-ta šumo-ba iltimos-am hast
one-CLF 2SG.HON-DAT/LOC request-1SG.POSS exist.3SG
「一つあなたに私のお願いがあります」

日本語で「A の B」となる (33-38) の多くは属格所有構造「A-ACC/GEN B-POSS」またはエザーフエ構造「B-IZ A」で表されるが、それらでは表すことができないものもある。エザーフエ構造の方が表せる関係が広いと、エザーフエ構造は可能だが属格所有構造が不可能なものもある。一方、サマルカンド・タジク語のエザーフエ構造ではエザーフエが一つしか現れないため、「A の B の C (の D の…)」のようなものは属格所有構造でのみ表される。

[128] (33) 冬の雨 サマルカンドの家

zimiston-a boron-aš
winter-ACC/GEN rain-3SG.POSS
「冬の雨」

boron-i zimiston
rain-IZ winter
「冬の雨」

Samarqand-ba bud-agi xona
PN-DAT/LOC be(PST)-PTCP.PSTII house
「サマルカンドにある家」

[129] (34) 犬の鳴き声／車の運転／～の小説

kučuk-a avoz-aš
dog-ACC/GEN sound-3SG.POSS
「犬の声」

avoz-i kučuk
sound-IZ dog
「犬の声」

mošin-a hay kad-an-aš
car-ACC/GEN drive do(PST)-INF-3SG.POSS
「車の運転」

asar-i Nodir
novel-IZ PN
「ノディルの作品」

Nodir-a asar-aš
 PN-ACC/GEN novel-3SG.POSS
 「ノデルの作品」

[130] (35) 机の {横/前} に立って/?机に (来て!) /あの人の次

peš-i stol-ba isto
 front-IZ table-DAT/LOC stand(PRS).2SG
 「机の前に立て」

peš-i stol-ba biyo
 front-IZ table-DAT/LOC come(PRS).2SG
 「机の前に来い」

badaz vay odam
 after that person
 「あの人の後」

[131] (36) バラの花びら 果物のナイフ 紙の飛行機 チューリップの絵

barg-i atirgul
 leaf-IZ rose
 「バラの花びら」

atirgul-a barg-aš
 rose-ACC/GEN leaf-3SG.POSS
 「バラの花びら」

kord-i meva
 knife-IZ fruit
 「果物のナイフ」

meva mu-burrid-agi kord
 fruit IMPF-cut(PST)-PTCP.PSTII knife
 「果物を切るナイフ」

qogoz samalyot-ča
 paper plane-DIM
 「紙飛行機」

rasm-i lola
 picture-IZ tulip
 「チューリップの絵」

lola-ya rasm-aš
tulip-ACC/GEN picture-3SG.POSS
「チューリップの絵」

花の匂い 英文の手紙 日本語の先生 井戸の水 雨の日
gul-a bū-š
flower-ACC/GEN smell-3SG.POSS
「花の匂い」

angliski xat
English letter
「英語手紙」

yaponski-ya malim-aš
Japanese-ACC/GEN teacher-3SG.POSS
「日本語の先生」

malim-i yaponski
teacher-IZ Japanese
「日本語の先生」

quduq-a ob-aš
well-ACC/GEN water-3SG.POSS
「井戸の水」

ob-i quduq
water-IZ well
「井戸の水」

rūz-i boron
day-IZ rain
「雨の日」

[132](37) 姉のシリシリン／社長のルスタモフさん

Širin oyti
PN sister
「シリシリン姉さん」

Širin oytam
PN sister.1SG.POSS
「(私の) シリシリン姉さん」

Rustamov direktor
 PN principle
 「ルスタモフ社長」

direktor Rustamov
 principle PN
 「社長のルスタモフ」

[133] (38) となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ (が昨日突然パンクしたんだって.)

hamsoya jūrem-a dadeš-a mošin-aš-a
 neighbor friend.1SG.POSS-ACC/GEN father.3SG.POSS-ACC/GEN car-3SG.POSS-ACC/GEN
šineš šab kafid-a-s
 tire.3SG.POSS yesterday burst(PST)-PTCP.PSTI-3SG
 「隣友達の父の車のタイヤが昨日パンクしたらしい」

7. 他動性

直接影響・変化の (1) で、直接目的語は属対格で標示され、文末に他動詞が現れている。(1d) 「殺したが死ななかった」の直訳は発話不可であり、「殺そうとしたが」もしくは「叩いたが」のようにする必要はある。

[134] (1a) 彼はそのハエを殺した。

vay vay paša-ya kušt
 that that fly-ACC/GEN kill(PST).3SG
 「彼はそのハエを殺した」

[134] (1b) 彼はその箱を壊した。

vay vay qutti-ya šikast
 that that box-ACC/GEN break(PST).3SG
 「彼はその箱を壊した」

[134] (1c) 彼はそのスープを温めた。

vay vay šūrbo-ya garm kad
 that that soup-ACC/GEN hot do(PST).3SG
 「彼はそのスープを温かくした」

[134] (1d) 彼はそのハエを殺したが、死ななかった。(発話可能かどうか?)

**vay pašša-ya kušt, lekin pašša na-murd*
 that fly-ACC/GEN kill(PST) but fly NEG-die(PST).3SG
 「彼はハエを殺した、しかしハエは死ななかった」

vay pašša-ya kušt-ani šud, lekin pašša na-murd
 that fly-ACC/GEN kill(PST)-PTCP.FUT become(PST) but fly NEG-die(PST).3SG

「彼はハエを殺そうとした、しかしハエは死ななかった」

vay pašša-ya zad u, lekin pašša na-murd
 that fly-ACC/GEN hit(PST) and but fly NEG-die(PST).3SG
 「彼はハエを叩いて、しかしハエは死ななかった」

直接影響・無変化 (2) も (1) と同様の格枠組みで表される。意志のあるなしは格枠組みには影響せず、意志がないことは過去分詞 1+補助動詞 *mondan* 「残る、置く」で表される。

[135] (2a) 彼はそのボールを蹴った。

vay vay happak-a zad
 that that ball-ACC/GEN hit(PST).3SG
 「彼はそのボールを叩いた」

[135] (2b) 彼女は彼の足を蹴った。

vay duxtar vay pisar-a počēš-a zad
 that girl that boy-ACC/GEN leg.3SG.POSS-ACC/GEN hit(PST).3SG
 「あの女の子はあの男の子の足を叩いた」

[135] (2c) 彼はその人にぶつかった (故意に)。

vay pisar vay odam-a zad
 that boy that person-ACC/GEN hit(PST).3SG
 「あの男の子はあの人を叩いた」

vay pisar vay odam-a yetala dod
 that boy that person-ACC/GEN push give(PST).3SG
 「あの男の子はあの人を押した」

[135] (2d) 彼はその人にぶつかった (うっかり)。

vay pisar vay odam-a zad-a mond
 that boy that person-ACC/GEN hit(PST)-PTCP.PSTI put(PST)
 「あの男の子はあの人を叩いてしまった」

vay pisar vay odam-a yetala dod-a mond
 that boy that person-ACC/GEN push give(PST)-PTCP.PSTI give(PST).3SG
 「あの男の子はあの人を押してしまった」

知覚 (3, 4) は, *namidan* 「見える」が現れる (3a) のみ格枠組みが異なり, 「2-3 人」を主語とした自動詞文となる。その他は (1, 2) と同様である。

[136] (3a) あそこに人が数人見える。

unja-ba du se=ta odam me-nam-ad
 there-DAT/LOC two three=CLF person IMPF-appear(PRS)-3SG
 「あそこに 2-3 人が見える」

[136] (3b) 彼はその家を見た。

vay vay xona-ya did
 that that house-ACC/GEN see(PST).3SG
 「彼はその家を見た」

[136] (3c) 誰かが叫んだのが聞こえた。

kim ki dod guft-ageš-a šunid-am
 some who scream say(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN hear(PST)-1SG
 「誰かが叫んだことを私は聞いた」

[136] (3d) 彼はその音を聞いた。

vay vay avoz-a šunid
 that that sound-ACC/GEN hear(PST).3SG
 「彼はその音を聞いた」

[137] (4a) 彼は (なくした) 鍵を見つけた。

vay gum kad-agi kalit-aš-a yoft
 that lose do(PST)-PTCP.PSTII key-3SG.POSS-ACC/GEN find(PST).3SG
 「彼はなくした鍵を見つけた」

[137] (4b) 彼は椅子を作った。

vay vay ustal-a soxt
 that that table-ACC/GEN build(PST).3SG
 「彼はその椅子を作った」

「待つ」にあたる意味を表す形式は、与位格 *-ba* をとる *nigo kadan* 「(～に) 目を向ける」と、*istodan* 「立っている」または *šištan* 「座っている」の組み合わせで表される。よって、(5a, 5b) は自動詞文である。(5b) は *vaya omadageš* 「彼の来たこと」が *to ... -a* 「～まで」で標示されている (前置詞 *to* は後ろの要素に属対格 *-a* を要求する)。(5c) は他動詞 *koftan* 「探す」の現れた他動詞文である。

[138] (5a) 彼はバスを待っている。

vay avtobus-ba nigo kad-a istod-a-s
 that bus-DAT/LOC look do(PST)-PTCP.PSTI stand(PST)-PTCP.PSTI-3SG
 「彼はバスに目を向けて立っている」

vay avtobus-ba nigo kad-a šišt-a-s
 that bus-DAT/LOC look do(PST)-PTCP.PSTI sit(PST)-PTCP.PSTI-3SG

「彼はバスに目を向けて座っている」

[138] (5b) 私は彼が来るのを待っていた。

man vay-ba nigo kad-a istod-ud-am
 1SG that-DAT/LOC look do(PST)-PTCP.PST1 stand(PST)-PST-1SG
 「私は彼に目を向けて立っていた」

man to vay-a omad-ageš-a nigo kad-a
 1SG until that-ACC/GEN come(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN look do(PST)-PTCP.PSTI
istod-ud-am
 stand(PST)-PST-1SG
 「私は彼の来るまで目を向けて立っていた」

[138] (5c) 彼は財布を探している。

vay kašelyok-aš-a kofsa-s
 that wallet-3SG.POSS-ACC/GEN search(PST).PROG-3SG
 「彼は財布を探している」

(6) はいずれも他動詞 *donistan* 「知る」による他動詞文で表されうる。「(人を見識っている)」の場合は *šinoxtan*, 「(言語を)理解する」の場合は *fahmidan* が用いられうるが、いずれも他動詞のため格枠組みは変わらない。

[139] (6a) 彼はいろいろなことをよく知っている。

vay har xel čiz-o-ya me-don-at
 that every kind thing-PL-ACC/GEN IMPF-know(PRS)-3SG
 「彼はいろんな種類のものを知っている」

[139] (6b) 私はあの人を知っている。

man vay odam-a me-don-am
 1SG that person-ACC/GEN IMPF-know(PRS)-1SG
 「私はあの人を知っている」

man vay odam-a mi-šinos-am
 1SG that person-ACC/GEN IMPF-acquaint(PRS)-1SG
 「私はあの人を見識っている」

[139] (6c) 彼には中国語がわかる。

vay kitayski-ya me-don-at
 that Chinese-ACC/GEN IMPF-know(PRS)-3SG
 「彼は中国語を知っている」

vay kitayski-ya me-fam-at
 that Chinese-ACC/GEN IMPF-understand(PRS)-3SG
 「彼は中国語を理解している」

「覚えている」にあたる意味は「(誰々の) 記憶に (ある)」, 「忘れる」は「(誰々の) 記憶から出る」のような構造で表される. よって, (7a, 7b) はそれぞれ「私が言った言葉」, 「彼の電話番号」を主語とする非他動詞文である. (7b) では述語に推測法の形式 (過去分詞 1+コピュラ由来の人称標識) が現れている.

[140] (7a) あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか?

man šab guft-agi gap es-aton-ba mi?
 1SG yesterday say(PST)-PTCP.PSTII word mind-2PL.POSS-DAT/LOC Q
 「私が昨日言った言葉はあなたの記憶にありますか?」

[140] (7b) 私は彼の電話番号を忘れてしまった.

vay-a tilifon-aš ays-am buromd-a-s
 that-ACC/GEN phone-3SG.POSS from.mind-1SG.POSS go.out(PST)-PTCP.PSTI-3SG
 「彼の電話は私の記憶から出てしまったようだ」

「愛する, 好き」は「(~を) 良く見る」, 「嫌い」は「(~を) 悪く見る」のように表現される. (8b) の二つ目の例にある *foridan* 「気に入る」は, 「誰々に何々が気に入る」のような格枠組みとなる.

[141] (8a) 母は子供たちを深く愛していた.

biyeš bačoš-a saxt nağz mi-did
 mother.3SG.POSS child.PL.3SG.POSS-ACC/GEN hard good IMPF-see(PST).3SG
 「その母はその子供たちを固く良く見ていた」

[141] (8b) 私はバナナが好きだ.

man banan-a nağz mi-bin-am
 1SG banana-ACC/GEN good IMPF-see(PRS)-1SG
 「私はバナナを良く見ている」

man-ba banan me-for-ad
 1SG-DAT/LOC banana IMPF-prefer-3SG
 「私にバナナが気に入っている」

[141] (8c) 私はあの人を嫌いだ.

man vay odam-a ganda mi-bin-am
 1SG that person-ACC/GEN bad IMPF-see(PRS)-1SG
 「私はあの人を悪く見ている」

「~が欲しい」「~が要る」は, 非動詞述語 *darkor* 「必要だ」によって表され, 「誰々に何々が必要だ」

のような格枠組みをとる.

[142] (9a) 私は靴が欲しい.

man-ba tufli darkor
 1SG-DAT/LOC shoe necessary
 「私に靴が必要だ」

[142] (9b) 今, 彼にはお金が要る.

vay-ba hozir pul darkor
 that-DAT/LOC now money necessary
 「彼に今お金が必要だ」

jaxl kadan 「～に怒る (～に怒りをする)」, *ūxša kadan* 「似る」は与位格 *-ba* をとり, *tarsidan* 「怖がる」は前置詞 *a* 「～から」をとる.

[143] (10a) (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている.

man-a biyem ukem-a allond-ageš-ba
 1SG-ACC/GEN mother.1SG.POSS y.brother-ACC/GEN lie(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-DAT/LOC
jaxl kad-an
 anger do(PST)-3PL
 「私の母は, 私の弟の嘘ついたことに怒りをした」

man-a biyem ukem-a allond-ageš-ba
 1SG-ACC/GEN mother.1SG.POSS y.brother-ACC/GEN lie(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-DAT/LOC
jaxl kaysen
 anger do(PST).PROG.3PL
 「私の母は私の弟の嘘ついたことに怒りをしている」

[143] (10b) 彼は犬が怖い.

vay a kučuk me-tars-ad
 that from dog IMPF-fear(PRS)-3SG
 「彼は犬から怖がる」

[144] (11a) 彼は父親に似ている.

vay dadeš-ba ūxša mu-kun-ad
 that father.3SG.POSS-DAT/LOC similar IMPF-do(PRS)-3SG
 「彼は彼の父に似ている」

[144] (11b) 海水は塩分を含んでいる.

ob-i okean-ba namak hast
 water-IZ ocean-DAT/LOC salt exist.3SG
 「海の水には塩がある」

šudan 「なる」は、日本語の「に」のような格を取らない。

[145] (12a) 私の弟は医者だ。

man-a ukem duxtur
 1SG-ACC/GEN y.brother.1SG.POSS doctor
 「私の弟は医者だ」

[145] (12b) 私の弟は医者になった。

man-a ukem duxtur šud
 1SG-ACC/GEN y.brother.1SG.POSS doctor become(PST).3SG
 「私の弟は医者になった」

能力可能は過去分詞 1 + *tonistan* 「できる」によって表される。

[146] (13a) 彼は車の運転ができる。

vay mošin hay kad-a me-ton-at
 that car drive do(PST)-PTCP.PSTI IMPF-can(PRS)-3SG
 「彼は車を運転することができる」

[146] (13b) 彼は泳げる。

vay habozi kad-a me-ton-at
 that swim do(PST)-PTCP.PSTI IMPF-can(PRS)-3SG
 「彼は泳ぎをすることができる」

[147] (14a) 彼は話をするのが上手だ。

vay nağz gap me-zan-at
 that good word IMPF-hit(PRS)-3SG
 「彼はうまく話をする」

[147] (14b) 彼は走るのが苦手だ。

vay nağz toxt-a na-me-ton-at
 that good run(PST)-PTCP.PSTI NEG-IMPF-can(PRS)-3SG
 「彼はうまく走ることができない」

vay nağz na-me-toz-at
 that good NEG-IMPF-run(PRS)-3SG
 「彼はうまく走らない」

移動の到着点は与位格 *-ba* で、通り道は前置詞 *a* 「から」もしくは属対格 *-a* で標示される。

[148] (15a) 彼は学校に着いた.

vay maktab-ba omad
that school-DAT/LOC come(PST).3SG
「彼は学校に来た」

vay maktab-ba raft-a rasid
that school-DAT/LOC go(PST)-PTCP.PSTI reach(PST).3SG
「彼は学校に行って着いた」

[148] (15b) 彼は道を渡った／横切った.

vay a rah guzašt
that from way pass(PST).3SG
「彼は道から過ぎた」

vay rah-a guzašt
that way-ACC/GEN pass(PST).3SG
「彼は道を過ぎた」

[148] (15c) 彼はあの道を通った.

vay a hamun rah gašt
that from that way move(PST).3SG
「彼はあの道から歩いた」

vay a hamun rah guzašt
that from that way pass(PST).3SG
「彼はあの道から過ぎた」

「お腹が減った」「喉が渴いた」は、それぞれの意味を表わす形容詞 *gušna*, *tašna* を用いた形容詞述語文で表される。それらの後ろに *mondan* 「残る，置く」が後続した表現も同じ意味で用いられる。

[149] (16a) 彼はお腹を空かしている.

vay gušna
that hungry
「彼は空腹だ」

vay-a dil-aš gušna
that-ACC/GEN heart-3SG.POSS hungry
「彼のお腹 (lit. 心) は空腹だ」

vay gušna mond-a-s
that hungry put(PST)-PTCP.PSTI-3SG
「彼は空腹になってしまったようだ」

[149] (16b) 彼は喉が渴いている.

vay tašna

that thirsty

「彼は (喉が) 乾いている」

vay tašna mond-a-s

that thirsty put(PST)-PTCP.PSTI-3SG

「彼は (喉が) 乾いて残ったようだ」

「誰々が寒い」は「誰々が寒さを食べている」と表現される.

[150] (17a) 私は寒い.

man xunuk xūrsem

1SG cold eat(PST).PROG.1SG

「私は寒さを食べている」

[150] (17b) 今日は寒い.

imruz xunuk

today cold

「今日は寒い」

「助ける」は *yordam dodan* 「助けを与える」と表現され、相手は与位格 *-ba* で標示される.

[151] (18a) 私は彼を手伝った／助けた.

man vay-ba yordam dod-am

1SG that-DAT/LOC help give(PST)-1SG

「私は彼に助けを与えた」

[151] (18b) 私は彼がそれを運ぶのを手伝った.

man vay-ba karobka-ya gift-a raft-an-ba yordam dod-am

1SG that-DAT/LOC box-ACC/GEN take(PST)-PTCP.PSTIgo(PST)-INF-DAT/LOC help give(PST)-1SG

「私は彼に箱を取っていくことに助けを与えた」

(19) は日本語と格枠組みが異なる. *pursidan* 「訊く」は相手が前置詞 *a* 「から」で標示される. (19b) で「そのこと」は前置詞 *azbūri* 「について」で標示されている.

[152] (19a) 私はその理由を彼に訊いた.

man a vay sabab-aš-a pursid-am

1SG from that reason-3SG.POSS-ACC/GEN ask(PST)-1SG

「私は彼からその理由を訊いた」

[152] (19b) 私はそのことを彼に話した.

man vay-ba azbūri vay chiz gap zad-am
 1SG that-DAT/LOC about that thing word hit(PST)-1SG
 「私は彼にそのことについて話をした」

「～に会う」は「～を見る」と表現される.

[153] (20) 私は彼に会った.

man vay-a did-am
 1SG that-ACC/GEN see(PST)-1SG
 「私は彼を見た」

8. 連用修飾的複文

同時動作は一つ目の例のように過去分詞 1 *-a* によって表される. 二つ目の例では過去分詞 2 *-agi* (名詞的用法) による名詞節「(彼が) 食べ物を食べていること」が, エザーフェによって「時間」と結びついた名詞句「(彼が) 食べ物を食べている時間」が用いられている.

[154] (1) 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる. 【同時動作】

vay har faqat gazeta-ya xond-a avqot mū-xūr-at
 that each time newspaper-ACC/GEN read(PST)-PTCP.PSTI food IMPF-eat(PRS)-3SG
 「彼は毎回新聞を読んでご飯を食べる」

vay har faqat vaxt-i avqot xūrs-ud-ageš-ba gazeta
 that each time time-IZ food eat(PST).PROG-PST-PTCP.PSTII.3SG.POSS-DAT/LOC newspaper
me-xon-at
 IMPF-read(PRS)-3SG

「彼は毎回食べ物を食べている時間に新聞を読む」

継起的動作は物語的連鎖も副詞的修飾も, 同時動作と同様に過去分詞 1 *-a* によって表される.

[155] (2) (私は) 昨日は 10 時に家に帰って, 少しテレビを見て (から), 寝ました. 【継起的動作・物語的連鎖】

man šab soat-i dah-ba xona-ba omad-a, yaxpiči tilivizor
 1SG yesterday hour-IZ ten-DAT/LOC house-DAT/LOC come(PST)-PTCP.PSTI little TV
did-a xoraft-am
 see(PST)-PTCP.PSTI sleep(PST)-1SG
 「私は昨日 10 時に家に来て少しテレビを見て寝た」

[156] (3) (私は) 昨日階段で転んで, ケガをしてしまった. 【継起: 理由】

man šab a zinapoča ġaltid-a počem-a šikast-am
 1SG yesterday from stairs fall(PST)-PTCP.PSTI leg.1SG.POSS-ACC/GEN break(PST)-1SG
 「私は昨日階段から落ちて足を壊した」

異主語であっても同様に過去分詞 1 *-a* が用いられうる。二つ目の例のように、2つの定形節が等位接続詞 *u* 'and' によって結びついた表現も見られる。

[157] (4) 今日も父は会社に行つて、兄は大学に行つた。【異主語】

imrūz ham dadem kor-ba raft-a, akem universitet-ba
 today too father.1SG.POSS work-DAT/LOC go(PST)-PTCP.PSTI o.brother.1SG.POSS university-DAT/LOC
raft
 go(PST).3SG
 「今日も私の父は仕事に行つて、私の兄は大学に行つた」

imrūz ham dadem kor-ba raft-an u, akem universitet-ba
 today too father.1SG.POSS work-DAT/LOC go(PST)-3PL and o.brother.1SG.POSS university-DAT/LOC
raft.
 go(PST).3SG
 「今日も私の父は仕事に行かれた、そして、私の兄は大学に行つた」

付帯状況も過去分詞 1 *-a* によって表される。

[158] (5) (あの人は) 今日は帽子をかぶつて歩いていた。【付帯状況】

vay odam imrūz qalpok pūšt-a gašt-ud
 that person today hat wear(PST)-PTCP.PSTI move(PST)-PST.3SG
 「あの人は今日帽子を着て歩いていた」

平行動作は定形節を並べて表現される。

[159] (6) (私は) 休みの日はいつも本を読んだり、テレビを見たりしています。【並行動作】

man rūz-i dam-ba har faqat kitob me-xon-am, tilivizor mi-bin-am.
 1SG day-IZ rest-DAT/LOC each time book IMPF-read(PRS)-1SG TV IMPF-see(PRS)-1SG
 「私は休みの日に毎回本を読む、テレビを見る」

(7) と (8) の一つ目の例で理由は動詞形式では表現されておらず、(8) の一つ目の例では2つ目の節の文頭で「それで」にあたる接続詞 *hamunba* で表されている。(8) の二つ目の例では、過去分詞 2+与位格「~したので」が用いられている。

[160] (7) 時間がないから、急いで行こう。【理由・カラ】

vaxt nest. tez raft-em
 time exist.NEG.3SG fast go(PST)-1SG
 「時間がない。私たちは早く行つた」

[161] (8) 昨日は頭が痛かったので、いつもより早く寝ました。【理由・ノデ】

šab sar-am dar kays-ud. hamun-ba tez xorajt-am
 yesterday head-1SG.POSSHurt do(PST).PROG-PST that-DAT/LOC fast sleep(PST)-1SG
 「昨日私の頭が痛んでいた。それで私は早く寝た。」

šab sar-am dar kad-ageš-ba tez xorajt-am
 yesterday head-1SG.POSSHurt do(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-DAT/LOC fast sleep(PST)-1SG
 「昨日私の頭が痛んだため私は早く寝た」

目的節の動詞は不定形 *-an* に与位格 *-ba* が付加した形式で表される。(10) の 3 つ目の例では意志を表わす接続法の形式と引用標識 *gufta* 「〜と (言って)」によって表されている。

[162] (9) あの人は本を買いに行った。【趨向／移動の目的】

vay odam kitob-a xarid-an-ba raft
 that person book-ACC/GEN buy(PST)-INF-DAT/LOC go(PST).3SG
 「あの人は本をかうことのために行った」

[163] (10) (彼は) 外が良く見えるように窓を開けた。【目的・意図】

berun-a nağz-tar did-an-ba tiriza-ya kišod-am
 outside-ACC/GEN good-COMP see(PST)-INF-DAT/LOC window-ACC/GEN open(PST)-1SG
 「私は外をより良く見ることのために窓を開けた」

berun-a nağz-tar did-an-ba tiriza-ya kišod-a mond-am
 outside-ACC/GEN good-COMP see(PST)-INF-DAT/LOC window-ACC/GEN open(PST)-PTCP.PSTI put(PST)-1SG
 「私は外をより良く見ることのために窓を開けておいた」

berun-a nağz-tar bin-am guft-a tiriza-ya kišod-am
 outside-ACC/GEN good-COMP see(PRS)-1SG say(PST)-PTCP.PSTI window-ACC/GEN open(PST)-1SG
 「私は外をよりよく見よう、と言って、窓を開けた」

条件表現 (11-23) で条件節の動詞はすべて、接続法の形式である現在語幹＋人称標識で表される。恒常的条件、仮定条件、一般的真理の場合は主節動詞が直説法現在未完結形に、確定条件の場合は主節動詞が直説法過去形となる。

[164] (11) ここでは夏になると、よく雨が降ります。【恒常的条件】

inja-ba toiston biyo-d boron mül me-bor-at
 here-DAT/LOC summer come(PRS)-3SG rain many IMPF-rain(PRS)-3SG
 「ここでは夏が来れば、雨がたくさん降る」

[165] (12) 窓を開けると、冷たい風が入って来た。【確定条件・生起】

tiriza-ya kišo-m šamol-i xunuk daromad
 window-ACC/GEN open(PRS)-1SG wind-IZ cold enter(PST).3SG

「私が窓を開ければ、冷たい風が入った」

[166] (13) 坂を上ると、海が見えた。【確定条件・発見】

teppa-ča-ya bolo-š-ba buro-m okean namid
 hill-DIM-ACC/GEN top-3SG.POSS-DAT/LOC go.out(PRS)-1SG ocean appear(PST).3SG
 「私が丘の上に出れば、海が見えた」

[167] (14) 明日雨が降ったら、私はそこに行かない。【仮定条件】

agar paga boron bor-ad man unja-ba na-mū-rūm
 if tomorrow rain rain(PRS)-3SG 1SG there-DAT/LOC NEG-IMPf-go(PRS).1SG
 「もし明日雨が降れば、私はそこに行かない」

反実仮想の表現では、文末に過去と関連した形式が現れる。

[168] (15) もっと早く起きればよかったなあ。【反実仮想】

barvaxt-tar xez-am nağz bud
 early-COMP wake.up(PRS)-1SG good be(PST).3SG
 「私がより早く起きればよかった」

[169] (16) あんなところに行かなければよかった。【反実仮想・前件否定】

unxel joy-ba na-rav-am nağz bud
 like.that place-DAT/LOC NEG-go(PRS)-1SG good be(PST).3SG
 「私があんな場所に行かなければよかった」

unxel joy-ba na-rav-am ham mu-šud-ud
 like.that place-DAT/LOC NEG-go(PRS)-1SG too IMPF-become(PST)-PST.3SG
 「私があんな場所に行かなくてもなっていた」

[170] (17) 1に1を足せば、2になる。【一般的真理】

yak-ba yak-a qūši kun-ad du mu-šud
 one-DAT/LOC one-ACC/GEN add do(PRS)-3SG two IMPF-become(PRS).3SG
 「1に1を足せば、2になる」

yak plus yak du mu-šud
 one plus one two IMPF-become(PRS).3SG
 「1 プラス 1 は 2 になる」

[171] (18) 駅に着いたら電話をしてください。【仮定条件+働きかけのモダリティ】

stantsiya-ba bed tilifon kun-ed
 station-DAT/LOC come(PRS).2SG.HON phone do(PRS)-2SG.HON
 「あなたが駅に着いたら、電話をしてください」

前件の仮定条件は後件に願望のモダリティがあろうとなかろうと接続法の形式となる。後件の願望「～したいなあ」は、接続法の形式とコピュラ動詞 *budan* の直説法過去形 *bud* の組み合わせで表される。

[172] (19) 日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。【仮定条件+願望】

rūz-i yakšammi hamma qati park-ba rav-em bud
 dai-IZ sunday every together park-DAT/LOC go(PRS)-1PL be(PST).3SG
 「日曜日にみんな一緒に公園に行ったらなあ」

yakšammi biyo-d hamma qati park-ba rav-em bud
 sunday come(PRS)-3SG every together park-DAT/LOC go(PRS)-1PL be(PST).3SG
 「日曜日が来たら、みんな一緒に公園に行ったらなあ」

[173] (20) 明日雨が降ったら困るなあ。【心配】

paga boron na-bor-ad bud
 tomorrow rain NEG-rain(PRS)-3SG be(PST).3SG
 「明日雨が降らなければなあ」

paga boron bor-ad xafa mu-šum
 tomorrow rain rain(PRS)-3SG sad IMPF-become(PRS).1SG
 「明日雨が降れば私は悲しくなる」

[174] (21) 家に来るなら、電話をしてから来てください。【時間的前後関係に則していないナラ条件文】

xona-ba me-omad-agi boš-i tilifon kad-a biyo
 house-DAT/LOC IMPF-come(PST)-PTCP.PSTII be(PRS)-2SG phone do(PST)-PTCP.PSTI come(PRS).2SG
 「君が家に来るのであれば、電話をして、来い」

[175] (22) [もうすぐベルが鳴るので]鳴ったら、教えてください。【予想を伴った条件文】

agar zvanok šav-ad man-ba gūy-et
 if bell become(PRS)-3SG 1SG-DAT/LOC say(PRS)-2SG.HON
 「もしベルがなれば、私に言ってください」

[176] (23) [もしかしたらベルが鳴るかもしれないので]もし鳴ったら、教えてください。【予想を伴わない条件文】

agar zvanok šav-ad man-ba gūy-et
 if bell become(PRS)-3SG 1SG-DAT/LOC say(PRS)-2SG.HON
 「もしベルがなれば、私に言ってください」

(24) は疑問詞や指示詞による相関構文とはなっていない。

[177] (24) 働かざるもの食うべからず。／働かない者は、食べるべきではない。【相関構文】

kor na-kun-i avqot nest
 work NEG-do(PRS)-2SG food exist.NEG.3SG

「(お前が) 仕事をしないなら, 食べ物はない」,

kor na-kad-agi-ba avgot nest
 work NEG-do(PST)-PTCP.PSTII-DAT/LOC food exist.NEG.3SG
 「仕事をしない者には食べ物がない」

言いさし・願望は (19) と同様に接続法の形式とコピュラ動詞 *budan* の直説法過去形 *bud* の組み合わせで表される.

[178] (25) もう少しお金があったらなあ. 【言いさし・願望】

mūl-tar pul-am boš-ad bud...
 many-COMP money-1SG.POSS be(PRS)-3SG be(PST).3SG
 「私のより多いお金があればなあ」

日本語の言いさし (提案) に対応する以下の表現は条件表現をとらない.

[179] (26) これも食べたら? 【言いさし・提案】

inam mū-xūr-ed mi?
 this.ACC/GEN.too IMPF-eat(PRS)-2SG.HON Q
 「あなたはこれも食べますか?」

inam xūr-ed
 this.ACC/GEN.too eat(PRS)-2SG.HON
 「あなたはこれも食べてください」

つき放しの場合も (26) の二つ目の例と同様に命令文で表現される. (27) で「やりたいなら」は接続法の形式で表されているが, 主節述語は命令形である.

[180] (27) やりたいなら (自分の) 好きなようにやれば? 【言いさし・つき放し】

hamxel kad-aget omays-ud-agi boš-ad kad-an gir
 like.this do(PST)-PTCP.PSTII.SG.POSS come(PST).PROG-PST-PTCP.PSTII be(PRS)-3SG do(PST)-INF take(PRS).2SG
 「君のこのようにする気持ちが来ていたのであれば, していい」

hamxel kad-aget biyo-d kadan gir
 like.this do(PST)-PTCP.PSTII.2SG.POSS come(PRS)-3SG do(PST)-INF take(PRS).2SG
 「君のする気持ちが来るなら, していい」

譲歩「～しても」は接続法の形式に累加の接語 *=(y)am* が付加した形式で表される.

[181] (28) このコップは落としても割れない. 【仮定的な逆接】

in stakan-a afton-i=yam na-mi-šikan-ad
 this glass-ACC/GEN drop(PRS)-2SG=too NEG-IMPF-break(PRS)-3SG

「このコップを君が落としても壊れない」

逆接は多くの場合接続詞 *lekin* ‘but’ で表される.

[182] (29) このリンゴは高かったのに、ちっとも甘くない. 【アクチュアルな逆接】

in seb qimmat u lekin voobše širin ne

this apple expensive and but completely sweet no

「このリンゴは高い, そしてしかし, 全く甘くない」

in seb qimmat bud-ageš=ki=yam voobše širin ne

this apple expensive be(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS=with=too completely sweet no

「このリンゴは高いにもかかわらず, 全く甘くない」

[183] (30) 彼の家に行ってみたけれども, 彼はいなかった. 【逆接3】

man vay-a xoneš-ba raft-am lekinvay xoneš-ba

1SG 1SG-ACC/GEN house.3SG.POSS-DAT/LOC go(PST)-1SGbut that house.3SG.POSS-DAT/LOC

na-bud

NEG-be(PST).3SG

「私は彼の家に行った, しかし彼は彼の家にいなかった」

時間的期限「～するまで(に)」は, 前置詞 *to* ‘until’+過去分詞 2-*agi* による名詞節+属対格 *-a* で表される.

[184] (31) あの人が来るまで, 私はここで待っています. 【時間的期限[1]】

to vay omad-ageš-a man haminja-ba nigo kad-a

until that come(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN 1SG here-DAT/LOC look do(PST)-PTCP.PSTI

mi-isto-m

IMPF-stand(PRS)-1SG

「あの人が来るまで私はここで見えています」

[184] (32) あの人が来るまでに, 食事を作っておきますよ. 【時間的期限[2]】

to vay omad-ageš-a man avgot puxt-a

until that come(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN 1SG food cook(PST)-PTCP.PSTI

me-mon-am

IMPF-put(PRS)-1SG

「あの人が来るまで私は食事を作っておきます」

9. 情報構造と名詞述語文

焦点を表わす形態的手段(焦点標識)はない. 焦点は統語的手段(語順)および韻律的手段(韻律的卓越性)によって標示される.

[185] (1) 「えっ、ファルホドが来たの?」「いや、ファルホドじゃなくてノディルが来たんだ。」

iye, Farhod omad mi?

MOD PN come(PST).3SG Q

「え、ファルホドが来たか?」

ne, Farhod na-omad-a-s, Nodir omad

no PN NEG-come(PST)-PTCP.PSTI-3SG PN come(PST).3SG

「いや、ファルホドは来ていない、ノディルが来た」

[186] (2) 「誰が来た (の) ?」「ファルホドが来たよ。」

ki omad? Farhod omad

who come(PST) PN come(PST).3SG

「誰が来た?」「ファルホドが来た」

[187] (3) 「ファルホドの方が大きいんじゃないの?」「いや、ファルホドじゃなくて、ノディルの方が大きいんだよ。」(ノディルとファルホドの背について話している状況で)

Farhod-a qad-aš daroz-tar ne mi?

PN-ACC/GEN height-3SG.POSS long-COMP no Q

「ファルホドの背がより長いのではないか?」

Ne, Farhod ne, Nodir daroz-tar

no PN no PN long-COMP

「いや、ファルホドではない、ノディルがより長い」

[188] (4) [電話で] 「どうした (の) ?」「うん、今、お客さんが来たんだ。」

či šud?

what become(PST).3SG

「何があった?」

mehmon omad

guest come(PST).3sg

「お客さんが来た」

mehmon omad-a mond

guest come(PST)-PTCP.PSTI put(PST).3SG

「お客さんが来てしまった」

[189] (5) 「あの子供がファルホドを叩いたんだって!?!」「いや、ファルホドじゃなくて、ノディルを叩いたんだよ。」

vay bača Farhod-a zad mi?

that child PN-ACC/GEN hit(PST).3SG Q

「あの子供がファルホドを叩いたか?」

ne, Farhod-a ne, Nodir-a zad
 no, PN-ACC/GEN no, PN-ACC/GEN hit(PST).3SG

「いや，ファルホドをではない，ノディルを叩いた」

[190] (6) 「赤い袋と青い袋があるけど，どっちを買う（の）？」「（私は）青い袋を買うよ。」

surx kati kavut paket hast, kadom-aš-a mi-gir-i?
 red with blue pocket exist.3SG which-3SG.POSS-ACC/GEN IMPF-take(PRS)-2SG

「赤と青の袋がある，そのどちらを君は買う？」

kavut-aš-a mi-gir-am
 blue-3SG.POSS-ACC/GEN IMPF-take(PRS)-1SG

「青いのを私は買う」

[191] (7) 「ファルホドはどうした？」「ファルホドは朝からどっかへでかけたよ。」（例えば，朝少し遅く起きて来たファルホドの父親が，姿の見えないファルホドについて母親に尋ねている場面で）

Farhod kani?

PN where

「ファルホドはどこ？」

a pagoyi kim gijo-ba raft-ud
 from morning some where-DAT/LOC go(PST)-PST.3SG

「朝からどこかに行った」

[192] (8) 「（あの子供は）誰を叩いたの？」「（あの子供は）自分の弟を叩いたんだ。」

vay bača ki-ya zad?
 that child who-ACC/GEN hit(PST).3SG

「あの子供は誰を叩いた？」

xud-aš-a ukeš-a (zad)
 self-3SG.POSS-ACC/GEN y.sibling.3SG.POSS-ACC/GEN hit(PST).3SG

「自分の弟を（叩いた）」

[193] (9) [電話で]「どうした（の）？」「うん，ノディルが（自分の）弟を叩いたんだ。」

（例えば，電話の向こうで子供の泣き声起きたのを聞いての発話）

či šud?
 what become(PST).3SG

「何があった」

Nodir xud-aš-a ukeš-a zad-a-s
 PN self-3SG.POSS-ACC/GEN y.sibling.3SG.POSS-ACC/GEN hit(PST)-PTCP.PSTI-3SG

「ノディルが自分の弟を叩いたらしい」

基本的に主題は文頭に、焦点要素は動詞直前位置に現れる。サマルカンド・タジク語の基本語順は SOV であるが、以下の例では、主題のケーキを指す目的語 *vay-a* 「あれを」が文頭に、焦点の主語 *Nodir* が動詞直前位置に現れている。

[194] (10) 「あのケーキ，どうした？」「ああ，（あれは）ノディルが食べちゃったよ。」

vay tort gijo-ba?
that cake where-DAT/LOC
「あのケーキはどこに？」

vay-a Nodir xūrd-a mond
that-ACC/GEN PN eat(PST)-PTCP.PSTI put(PST).3SG
「あれはノディルが食べてしまった」

以下は、関係節「私が昨日お店から買って来た」に修飾された「私の本」が主語となり、述語（焦点要素）に強調指示詞 *manin* 「まさにこれ」が現れた文である。

[195] (11) 私が昨日お店から買って来たのはこの本だ。

man šab a magazin xard-a omad-agi kitob-am manin
1SG yesterday from store buy(PST)-ACC/GEN come(PST)-PTCP.PSTII book-1SG.POSS this
「私が昨日お店から買って来た本はまさにこれだ」

サマルカンド・タジク語には日本語の「は」と「が」にあたる標識がなく、コピュラ文「AはBだ」，「BがAだ」はそれぞれ「AB」，「BA」となる。よって、措定文(12)と指定文(13,14)の間に大きな構造的な違いはない。(12)で主語は2文目でも出現しているが、1文目とは似た意味の異なる語で表現されている。

[196] (12) あの人は先生だ。この学校でもう3年働いている。

vay odam malim. un kas maktab-ba uje se sol kor mu-kun-an
that person teacher that person school-DAT/LOC already three year work IMPF-do(PRS)-3PL
「あの人は先生だ。あの人は学校でもう3年仕事をされている」

[197] (13) 彼のお父さんは、あの人だ。

vay bača-ya dadeš ana vay odam
that child-ACC/GEN father.3SG.POSS there that person
「あの子供の父はまさにあの人だ」

[198] (14) あの人が彼のお父さんだ。

vay odam vay bača-ya dadeš
that person that child-ACC/GEN father.3SG.POSS
「あの人があの子供の父だ」

定義文には *guft-ageš* 「～というのは」が現れる。

[199] (15) あさってってというのはね、あしたの次の日のことだよ。

pageš guft-ageš badaz paga me-omad-agi rüz
the.day.after.tmrw say(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS after tomorrow IMPF-come(PST)-PTCP.PSTII day
「あさってというのは、明日の後に来る日だ」

サマルカンド・タジク語ではウナギ文が成立せず、「私はコーヒーだ」は「私にコーヒー」ようになる。

[200] (16) [何人かで入った喫茶店で注文を聞かれて]「私はコーヒーだ。」

man-ba kofe
1SG-DAT/LOC coffee
「私にコーヒー」

man kofe mū-nūš-am
1SG coffee IMPF-drink(PRS)-1SG
「私はコーヒーを飲む」

[201] (17) [注文した数人分のお茶が運ばれて来て「どなたがコーヒーですか？」との問いに]「コーヒーは私だ。」

kofe man-ba
coffee 1SG-DAT/LOC
「コーヒーは私に」

以下の並列修飾と述語に形容詞が用いられる文で、and にあたる接続詞 *u* によって並列された形容詞句は、エザーフェによって名詞を修飾している。

[202] (18) 「その新しくて厚い本は（値段が）高い。」

vay kitob-i ġasp u nav qimmat
that book-IZ thick and new expensive
「その厚くて新しい本は高い」

意外性の標示には文末モダリティ詞 *ku* や、推測法の形式が用いられる。

[203] (19) [砂糖の入れ物を開けて]「あっ、砂糖が無くなっているよ！」

šakar nest ku!
sugar exist.NEG.3SG MOD
「砂糖がないじゃないか！」

šakar tamom šud-a-s
sugar end become(PST)-PTCP.PSTI-3SG

「砂糖が終わっているね」

以下の思い出しの例では意外性の標識は現れていない。

[204] (20) 「午後、誰かに会うはずだったなあ。誰だったっけ。あつ、そうだ! 田中君だったな。」

badaz obed kim ki-ya did-agem darkor bud. ki bud a.
 after lunch some who-ACC/GEN see(PST)-PTCP.PSTII.1SG necessary be(PST).3SG who be(PST).3SG MOD
ha es-am-ba omad. Farhod aka.
 yes mind-1SG.POSS-DAT/LOC come(PST).3SG PN brother

「昼食後、誰かを私の見るが必要だった。誰だったかな。そうだ、私の記憶にきた。ファルホド兄さんだ」

10. 情報標示の諸要素

(1) は 2 文目で「この土地」ではなく「土地の価値」が主語になっているため、斜格項「この土地」が統語的軸項とはなっていないが、(2) は、斜格項「私」が主題的に機能し、統語的軸項として機能しうることを示している。

[205] (1) この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。

in zamin-ba sabzavot-o nağz mū-ūs-ad. hamun-ba inja-ya narx-aš
 this land-DAT/LOC vegetable-PL good IMPF-grow(PRS)-3SG that-DAT/LOC here-ACC/GEN price-3SG.POSS
qimmat bud-agis
 expensive be(PST)-PTCP.PSTII.3SG

「この土地では野菜がよく育つ。だからここの価値は高いだろう」

[206] (2) 私は頭が痛い。だから今日は休む。

man-a sar-am dar kaysa-s. hamun-ba imrūz kor-ba
 1SG-ACC/GEN head-1SG.POSS hurt do(PST).PROG-3SG that-DAT/LOC today work-DAT/LOC
na-mū-rūm
 NEG-IMPF-go(PRS).1SG

「私の頭が痛んでいる。だから今日仕事に私は行かない」

日本語の限定を表わすとりたて詞「だけ」「しか」「ばかり」が表す意味は、いずれも前置される *faqat* ‘only’ で表される。

[207] (3) あの人だけ、時間通りに来た。

faqat vay odam vaxt-aš-ba omad
 only that person time-3SG.POSS-DAT/LOC come(PST).3SG

「あの人だけその時間に来た」

[208] (4) これはここでしか買えない。

in čiz-a faqat a haminja xard-a mu-šud
 this thing-ACC/GEN only from here buy.(PST)-PTCP.PSTI IMPF-become(PRS).3SG

「この物をまさにここからだけ買うことができる」

in ĉiz-a faqat haminja-ba xard-a me-ton-et
 this thing-ACC/GEN only here-DAT/LOC buy(PST)-PTCP.PSTI IMPF-can(PRS)-2PL
 「この物をまさにここでだけあなたは買うことができる」

[209] (5) その家にいたのは子供ばかりだった.

vay xona-ba faqat mayda bačo bud
 that house-DAT/LOC only small child.PL be(PST).3SG
 「その家に小さい子どもたちだけがいた」

日本語の「こそ」に相当する要素はない.

[210] (6) 次回こそ，失敗ないようにしよう.

in safar xato na-kad-an-ba harakat mu-kun-am
 this occasion mistake NEG-do(PST)-INF-DAT/LOC effort IMPF-do(PRS)-1SG
 「今回は失敗ないように（私は）努力する」

日本語の「でも」に相当する要素もない. 以下は直訳すると「お茶を」となっている.

[211] (7) 疲れたね，お茶でも飲もう.

halok šud-i a. qati čoy mū-nūš-em.
 tired become(PST)-2SG MOD together tea IMPF-drink(PRS)-1PL
 「(お前は) 疲れたでしょ？ (私たちは) 一緒にお茶を飲もう」

極端「さえ」にあたる意味は限定「だけ」などと同様に *faqat* ‘only’ によって表される.

[212] (8) 水さえあれば，数日間は大丈夫だ.

faqat ob boš-ad ham du se ruz zindagi kad-a mu-šud
 only water be(PRS)-3SG too two three day live do(PST)-PTCP.PSTI IMPF-become(PRS).3SG
 「水だけあっても，2-3 日生活することができる」

faqat ob boš-ad ham du se ruz hiči na-mu-šud
 only water be(PRS)-3SG too two three day nothing NEG-IMPF-become(PRS).3SG
 「水だけあっても，2-3 日何も起こらない」

極端「まで」にあたる意味はロシア語から借用された *daje* ‘even’ で表される. そのほかに，固有語の *hatto* ‘even’ もある.

[213] (9) 小さい子供まで，その仕事の手伝いをさせられた.

daje mayda bačo-yam kor kunond-an
 even small child.PL-GEN/ACC.too work do.CAUS(PST)-3PL

「小さい子どもたちにさえも、(彼らは) 仕事をさせた」

反極端「なんか」にあたる意味は反響語によって表される。

[214] (10) 私はお金なんか欲しくない。

man-ba pul+mul darkor ne

1SG-DAT/LOC money+RED necessary no

「私にお金やなんやは必要ではない」

以下の例で日本語の「ぐらい」にあたる意味は、「何もないなら」のような条件節で表されている。

[214] (11) 自分の部屋ぐらい、自分できれいにしなさい。

hij na-boš-ad xud-at-a xonet-a xud-at toza

none NEG-be.(PRS)-3SG self-2SG.POSS-ACC/GEN house-2SG.POSS-ACC/GEN self-2SG.POSS clean

kun

do(PRS).2SG

「少なくとも、お前自身の部屋をお前自身できれいにしろ」

累加「も」は、*ham* が接語化した *=(y)am* によって表される。

[215] (12) 私にもちょうだい。

man-ba=yam te

1SG-DAT/LOC=too give(PRS).2SG

「私にもくれ」

反類似・対比「は」に相当する意味は、以下のような疑問文では文末詞 *či* によって表される。

[216] (13) お父さんもう帰って来たね。お母さんは？

dadem uje omad-an. biyem či?

father.1SG.POSS already come(PST)-3PL mother.1SG.POSS what

「私の父はもう帰られた。私の母は何？」

「誰か」は特定 (14) の場合は *kim*+疑問詞、不特定の場合 (15, 17, 18) は *yagon*+名詞で表されている。

[217] (14) 誰か(が) 電話してきたよ。

kim ki tilifon kad

some who phone do(PST).PST

「誰かが電話した」

[218] (15) 誰かに聞いてみよう.

a yagon kas purs-em
 from some person ask(PRS)-1PL
 「誰かから訊こう」

疑問の場合は単に疑問詞 *ki* 「誰」が用いられる.

[219] (16) 私のいない間に誰か来た？

man na-bud-agem-ba ki omad?
 1SG NEG-be(PST)-PTCP.PSTII.1SG.POSS-DAT/LOC who come(PST).PST
 「私がいなるとき誰が来た？」

[220] (17) 誰か来たら、私に教えてください.

yagon kas biyo-d man-ba gūy-ed
 some person come(PRS)-3SG 1SG-DAT/LOC say(PRS)-2SG.HON
 「誰かが来たら、私に教えてください」

否定 (18, 19) は *hij* 「全く」+疑問詞で表されうる.

[221] (18) 今日は誰も来るとは思わない. /今日は誰も来ないと思う.

imrūz yagon kas mi-biyo-d guft-a ūyla na-mu-kun-am
 today some person IMPF-come(PRS)-3SG say(PST)-PTCP.PSTI think NEG-IMPF-do(PRS)-1SG
 「今日誰かが来ると私は考えない」

imrūz hij ki na-mi-biyo-d guft-a ūyla mu-kun-am
 today none who NEG-IMPF-come(PRS)-3SG say(PST)-PTCP.PSTI think IMPF-do(PRS)-1SG
 「今日誰も来ないと私は考える」

[222] (19) そこには今誰もいないよ.

unja-ba hozi hij ki nest
 there-DAT/LOC now none who exist.NEG.3SG
 「そこに今誰もいない」

自由選択はロシア語から借用された *lyuboy*+名詞で表されうる.

[223] (20) (それは) 誰でもできる.

vay kor-a lyuboy kas kad-a me-ton-at
 that work-ACC/GEN any person do(PST)-PTCP.PSTI IMPF-can(PRS)-3SG
 「その仕事をどんな人でもすることができる」

自由選択を示す「みんな」は以下で *hamma* 「すべて (の人)」によって表されている. 二つ目の例は (22) と同様, 反語になっている.

[224] (21) そんなこと (は), みんな知っているんじゃないか!?

vay čiz-a hamma me-don-at ku
 that thing-ACC/GEN every IMPF-know(PRS)-3SG MOD
 「そのことを皆が知っているよ」

vay čiz-a hamma na-me-don-at mi?
 that thing-ACC/GEN every NEG-IMPF-know(PRS)-3SG Q
 「そのことを皆が知らないか？」

[225] (22) そんなもの, 誰が買うんだよ!?, 誰も買うわけじゃないか!

ki unxel čiz-a me-xar-ad? hij ki na-me-xar-ad
 who like.that thing-ACC/GEN IMPF-buy(PRS)-3SG none who NEG-IMPF-buy(PRS)-3SG
 「誰がそんなものを買う? 誰も買わない」

話し手・聞き手の縄張り内の情報を伝達する以下の文で, 一つ目の例は述語が過去未完結形で, 文末にモダリティ詞 *ku* が現れている. 二つ目の例は単に事実を述べる文と変わらない.

[226] (23) 君は英語がうまいね.

tu anglisi-ya nağz me-donist-i ku
 2SG English-ACC/GEN good IMPF-know(PST)-2SG MOD
 「君は英語をよく知っていたんだね。」

tu anglisi-ya nağz me-don-i
 2SG English-ACC/GEN good IMPF-know(PRS)-2SG
 「君は英語をよく知っている。」

話し手の縄張り外・聞き手の縄張り内の情報を伝達する以下の文で, 一つ目の例は疑問文「(君は) 退屈しているか?」となっており, 二つ目の例は文末に後置詞 *barin* 'like' が現れている.

[227] (24) 君は退屈そうだね.

zix šuys-i mi?
 bored become(PST).PROG-2SG Q
 「君は退屈しているか?」

tu zix šuys-agi barin
 2SG bored become(PST).PROG-PTCP.PSTII like
 「君は退屈しているみたいだ。」

話し手・聞き手の縄張り外の情報を伝達する以下の文では, 述語に推量法の形式 (過去分詞 1+コピーラ由来の人称標識) が現れている.

[228] (25) 明日も寒いらしいよ.

paga=yam xunuk mu-šud-a-s
tomorrow=too cold IMPF-become(PST)-PTCP.PSTI-3SG
「明日も寒くなるようだ。」

11. 否定，形容詞と連体修飾複文

コピュラ文の否定は文末に置かれる *ne* によって表される.

[229] (1) これは私の本ではない.

in man-a kitob-am ne
this 1SG-ACC/GEN book-1SG.POSS no
「これは私の本ではない」

存在の否定は文末に置かれる *nest* (*hast* の否定形) で表される.

[230] (2) この部屋には椅子がない.

in xona-ba stul nest
this house-DAT/LOC chair exist.NEG.3SG
「この部屋に椅子はない」

全部否定は、「一つも」や「誰も」などにあたる名詞句と述語否定で表される.

[231] (3) この部屋には一つも椅子がない.

in xona-ba yak-ta=yam stul nest
this house-DAT/LOC one-CLF=too chair exist.NEG.3SG
「この部屋に一つも椅子はない」

[232] (4) その部屋には誰もいない.

in xona-ba hij ki nest
this house-DAT/LOC none who exist.NEG.3SG
「この部屋に誰もいない」

in xona-ba yagon-ta odam nest
this house-DAT/LOC some-CLF person exist.NEG.3SG
「この部屋に一人も人はいない」

所在文の否定も存在文と同様に *nest* で表される.

[233] (5) その本はこの部屋にない.

vay kitob in xona-ba nest
that book this house-DAT/LOC exist.NEG.3SG
「その本はこの部屋にない」

形容詞述語文の否定は名詞述語文と同様に文末の *ne* で表される。

[234] (6) この犬は大きくない。

vay kučuk kalon ne

that dog big no

「その犬は大きくない」

[235] (7) この犬はあまり大きくない。

vay kučuk inqatara kalon ne

that dog so big no

「その犬はそれほど大きくない」

比較の対象となる名詞句は前置詞 *a* 「～より」によって表される（以下のようにさらに *dida* 「見て」が後置されることもある）。比較級は比較の接辞 *-tar* が付加することで表されるが、以下のように比較対象が明示される場合は義務的ではない。

[236] (8) この犬はあの犬より大きい。

in kučuk a vay kučuk dida kalon

this dog from that dog see(PST)-PTCP.PSTI big

「この犬はあの犬より見て大きい」

最上級は文語では *-tarin* を付加することで表されるが、サマルカンド・タジク語ではウズベク語から借用された *eng* を前置させることで表される。

[237] (9) この犬がその犬たちの中で一番大きい。

in kučuk dan-i vay kučuk-o-ba eng kalon

this dog inside-IZ that dog-PL-DAT/LOC most big

「この犬がその犬たちの中で一番大きい」

自動詞文の否定も他動詞文の否定も、動詞述語文であれば *na-* によって表される。

[238] (10) 今日はあの人は来ない。

imrūz vay odam na-mi-biyo-t

today that person NEG-IMPV-come(PRS)-3SG

「今日はあの人は来ない」

[239] (11) あの人はその本を持って行かなかった。

vay odam vay kitob-a na-burd

that person that book-ACC/GEN NEG-take(PST).3SG

「あの人はその本を持って行かなかった」

全部否定 (12) は *yagon-ta* 「一人も」＋名詞と述語否定，部分否定 (13) は *hamma* 「すべての」＋累加の接語が付加した名詞と述語否定で表される。

[240] (12) 全ての学生が参加しなかった／学生は全員参加しなかった。

yagon-ta student qatnaši na-kad
some-CLF student participate NEG-do(PST).3SG
「一人も学生が参加をしなかった」

[241] (13) 全ての学生が参加したわけではない。

hamma student-o=yam qatnaši na-kad-a-s
every student-PL=too participate NEG-do(PST)-PTCP.PSTI-3SG
「全ての学生たちも参加をしていない」

以下は述語を否定して作る通常の否定文となっている。

[242] (14) (私は買わなかった。しかし、決して) 値段が高いというわけではない。

man na-xard-am. Lekin narx-aš qimmat ne
1SG NEG-buy(PST)-1SG but price-3SG.POSS expensive no
「私は買わなかった。しかしその値段は高くない」

禁止は否定命令形で表される。

[243] (15) 走るな！

na-toz
NEG-run(PRS).2SG
「走るな」

[244] (16) 大きな声を出すな！

dod na-gū
scream NEG-say(PRS).2SG
「叫びを言うな」

推量の否定は、憶測法の形式（過去分詞 2＋コピュラ由来の人称標識）の否定形で表される。

[245] (17) 明日は雨は降らないだろう。

paga boron na-me-borid-agi-s
tomorrow rain NEG-IMPF-rain(PST)-PTCP.PSTII-3SG
「明日雨は降らないだろう」

以下の例で述語は接続法の否定 3 人称形となっている。

[246] (18) あの人の聞こえないように、小さな声で話してくれ.

past-tar gap zan. vay odam na-šunav-at
low-COMP word hit(PRS).2SG that person NEG-hear(PRS)-3SG

「より低く (=より小さい声で) 話せ. あの人が聞かないように。」

(19) では否定のスキープの調節はなく、述語を否定して作る通常の否定文となっている.

[247] (19) 私はあなたを怒らせようと思ってそう言ったんじゃない.

man tu-ya jaxl-at-a burord-ani na-bud-am
1SG 2SG-ACC/GEN anger-2SG.POSS-ACC/GEN lift(PST)-PTCP.FUT NEG-be(PST)-1SG

「私は君の怒りを上げるつもりではなかった」

man tu-ya jaxl-at-a burond-an-ba vay gap-a
1SG 2SG-ACC/GEN anger-2SG.POSS-ACC/GEN lift(PST)-INF-DAT/LOC that word-ACC/GEN
na-gufi-ud-am

NEG-say(PST)-PST-1SG

「私は君の怒りを上げることのためにその話を言ったんじゃない」

内の関係の連体修飾は、主格主語と過去分詞 2 -agi による述語から成る関係節によって表される.

[248] (20) 私が昨日買った本はどこ (にある) ?

man šab xard-a omad-agi kitob kani?
1SG yesterday buy(PST)-PTCP.PSTI come(PST)-PTCP.PSTII book where

「私が昨日買った本はどこ？」

man-a šab xard-a omad-agi kitob-am kani?
1SG-ACC/GEN yesterday buy(PST)-PTCP.PSTI come(PST)-PTCP.PSTII book-1SG.POSS where

「私の昨日買った本はどこ？」

[249] (21) その本を持って来た人は誰 (か) ?

in kitob-a ki ovard?
this book-ACC/GEN who bring(PST).3SG

「この本を誰が持ってきた？」

in kitob-a ovard-agi ki?
this book-ACC/GEN bring(PST)-PTCP.PSTII who

「この本を持ってきたのは誰？」

[250] (22) この部屋が私たちの仕事をしている部屋です.

in mohon kor me-kad-agi xona
this 1PL work IMPF-do(PST)-PTCP.PSTII house

「これは私たちが仕事をする部屋だ」

in xona-ba mohon kor mu-kun-em
 this house-DAT/LOC 1PL work IMPF-do(PRS)-1PL
 「この部屋で私たちが仕事をする」

[251] (23) 足が一本折れたあの椅子はもう捨ててしまった。

vay počeš šikast-agi stul-a man uje pattoft-am
 that leg.3SG.POSS break(PST)-PTCP chair-ACC/GEN 1SG already throw(PST)-1SG
 「あの足が壊れている椅子を私はもう捨てた」

外の関係の連体修飾は、「音」のような一部の結果随伴物の場合、内の関係と同様の構造で表されうる。

[252] (24) ドアを叩いている音が聞こえる。

dar-a yagon kas zays-agi avoz-aš omaysa-s
 door-ACC/GEN some person hit(PST).PROG-PTCP.PSTII sound-3SG.POSS come(PST).PROG-3SG
 「ドアを誰かが叩いている音が来ている」

dar-a avoz-aš omaysa-s
 door-ACC/GEN sound-3SG.POSS come(PST).PROG-3SG
 「ドアの音が来ている」

[253] (25) あの人が結婚したという噂は本当（か）？

vay odam haqqoni tūy šud-a-s mi?
 that person really wedding become(PST)-PTCP.PSTI-3SG Q
 「あの人が本当に結婚したのか？」

vay odam tūy šud-a-s guft-agi miš+miš haqqoni bud
 that person wedding become(PST)-PTCP.PSTI-3SG say(PST)-PTCP.PSTII gossip+RED really be(PST).3SG
mi?
 Q
 「あの人が結婚したという噂は本当だったか？」

時間節は過去分詞 2 *-agi* + 与位格によって表される。場所節は、関係節 + 「場所」を意味する主要部名詞で表される。

[254] (26) 私はその人が来た時にご飯を食べていた。

vay omad-ageš-ba man avqot xūrs-ud-am
 that come(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-DAT/LOC 1SG food eat(PST).PROG-PST-1SG
 「彼が来た時に私はご飯を食べていた」

[255] (27) 私はその人が待っている所に行った。

vay nigo kad-a istod-agi još-ba man=am raft-am
 that look do(PST)-PTCP.PSTI stand(PST)-PTCP.PSTII place.3SG.POSS-DAT/LOC 1SG=too go(PST)-1SG
 「彼が見ていた場所に私も行った」

補文節は所有構造をとる。主語は属対格、述語は所有接辞が付加した過去分詞 2 -agi で表される。

[256] (28) 私はその人が走っていったのを見た。

vay-a toxt-a raft-ageš-a did-am
 that-ACC/GEN run(PST)-PTCP.PSTI go(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN see(PST)-1SG
 「彼の走って行ったのを私は見た」

[257] (29) 昨日の夜、私は彼らがしゃべっているのを聞いた。

šab šabaki vay-o-ya gap zad-a šišt-ageš-a
 yesterday night that-PL-ACC/GEN word hit(PST)-PTCP.PSTI sit(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN
šunid-am
 hear(PST)-1SG
 「昨日夜、彼らの話していた (lit. 話して座っていた) のを私は聞いた」

[258] (30) 私はその人が昨日ここに来たことを知っている。

man vay-a šab inja omad-ageš-a me-don-am
 1SG that-ACC/GEN yesterday here come(PST)-PTCP.PSTII.3SG.POSS-ACC/GEN IMPF-know(PRS)-1SG
 「私は彼の昨日ここに来たのを知っている」

間接話法、直接話法のいずれの場合も、引用標識 *gufta* 「〜と」 (*guftan* 「〜と言う」の過去分詞 1 形) が用いられる。一方、補文節中の時を表わす副詞や動詞の人称標示は間接話法と直接話法で異なる。

[259] (31) (昨日) 彼は彼が昨日ここに来たと言った。 / (昨日) 彼は、「私は今日ここに来た」と言った。

vay inja-ba šab omad guft-a guft
 that here-DAT/LOC yesterday come(PST) say(PST)-PTCP.PSTI say(PST).3SG
 「彼はここに昨日来たと言った」

vay šab man-ba guft ki, šab inja omad-a-s
 that yesterday 1SG-DAT/LOC say(PST) REL yesterday here come(PST)-PTCP.PSTI-3SG
 「彼は昨日私に言ったところでは、昨日ここに来たそうだ」

vay šab man-ba "imrūz omad-am" guft-a guft
 that yesterday 1SG-DAT/LOC today come(PST)-1SG say(PST)-PTCP.PSTI say(PST).3SG
 「彼は昨日私に『今日私は来た』と言った」

内在節は存在しない。(32, 33) のいずれでも、主要部は関係節の外にある。

[260] (32) 私はリンゴが（あの）皿の上にあったのを食べた。

man boli tarelka-ba bud-agi seb-a xūrd-am

1SG top.IZ plate-DAT/LOC be(PST)-PTCP.PSTI apple-ACC/GEN eat(PST)-1SG

「私は皿の上にあったリンゴを食べた」

[261] (33) 私はネコが家に入ってきたのを捕まえた。

man xona-ba daromad-agi pišak-a došt-am

1SG house-DAT/LOC enter(PST)-PTCP.PSTII cat-ACC/GEN grab(PST)-1SG

「私は家に入ったネコを掴んだ」

略号一覧

1, 2, 3	1, 2, 3 person	HON	honorific	(PRS)	present stem
ACC	accusative	IZ	izofat	PST	past
ADJLZ	adjectivalizer	IMPF	imperfective	(PST)	past stem
ADVLZ	adverbializer	INF	infinitive	PTCP	participle
CAUS	causative	MOD	modality marker	Q	question
CLF	classifier	NEG	negative	REL	relative
COMP	comparative	LOC	locative	RED	reduplication
COP	copula	PL	plural	SG	singular
DAT	dative	PN	proper noun	-	morpheme boundary
DIM	diminutive	POSS	possessive	=	clitic boundary
FUT	future	PROP	proprietary	+	compound boundary
GEN	genitive	PRS	present		

執筆者連絡先：zarinafayzieva@gmail.com

原稿受理：2023年12月28日